



学校法人 東筑紫学園

東筑紫短期大学

HIGASHI CHIKUSHI JUNIOR COLLEGE

令和 6(2024)年度 東筑紫短期大学 教員情報

【保育学科・専攻科】

テラモト フ ミ コ 寺本 普見子	TERAMOTO Fumiko	保育学科長、専攻科長・教授
所 属	東筑紫短期大学 保育学科	
担 当 科 目	【保育学科】 ・保育内容総論 ・保育内容総論演習 ・人間関係 ・幼児の理解と教育相談 ・保育・教職実践演習（幼稚園） ・環境	
専 門 分 野	■ 教育学	
最 終 学 歴	東筑紫短期大学 保育学科	
学 位	短期大学士	
職 歴	あおば幼稚園 教諭 (1973年4月～1975年3月) あおば幼稚園 主任教諭 (1975年4月～1978年3月) 長行幼稚園 主任教諭 (1978年4月～1997年3月) 長行幼稚園 園長 (1997年4月～2006年3月) 長行幼稚園 主事・教頭 (2006年4月～2013年3月) 東筑紫短期大学 保育学科 非常勤講師 (2012年9月～2013年3月) 東筑紫短期大学 保育学科 准教授 (2013年4月～2016年3月) 東筑紫短期大学 保育学科 教授 (2016年4月～現在に至る) 東筑紫短期大学 保育学科 学科長 (2018年4月～現在に至る) 学校法人 東筑紫学園 評議員 (2018年6月～現在に至る) 学校法人 あおば学園 評議員 (2020年3月～現在に至る) 学校法人 東筑紫学園 九州栄養福祉大学・ 東筑紫短期大学地域連携センター連携分野委員 (2023年12月～現在に至る) 学校法人 東筑紫学園 専攻科長 (2024年4月～現在に至る)	
教育上の業績	○1997年より2006年3月まで長行幼稚園園長として、幼児教育の向上を図るとともに地域との連携活動や、各校保育学科の学生実習を受け入れ教職の意義・役割・業務内容を指導・助言。 2013年4月より東筑紫短期大学保育学科生に対し、保育経験を通して教育学を指導。	
主な研究活動	【論文】 1. 教育職の研究 「現場で実践力として活躍できる保育士を育てる方法」 (東筑紫短期大学研究紀要第45号 (2014年12月)) (概要) 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育にかかわる新米保育者にとって今、何が必要であるのか。学生を教育する立場から、検証を重ね、実践力をもった活躍できる保育者を育てるために授業を充実させる研究を行う。	

**2. 「保育内容『言葉』と絵本との関係」**

(東筑紫短期大学研究紀要第 46 号 (2015 年 12 月))

(概要)

教育実習において学生が用いた絵本を検証・分析。学生に対するアンケートを基に、絵本の重要性を学生がどのように考え、問題点は何かを検証し、現在の授業を振り返るとともに今後の授業組み立てに繋げるべき研究を行った。

3. 「保育内容『人間関係』子どものケンカの対処法 (学生のアンケートを通して)」

(東筑紫短期大学研究紀要第 47 号 (2016 年 12 月))

(概要)

“保育内容『人間関係』ねらい”の子ども同士で遊びを共有し、共感し合うという中で生じる子どものケンカに対して、保育者がいかに対応するか、子どもへの指導法の研究を行う。

4. 「幼児の理解と教育相談」子どもの片付けについて (学生への授業内容を通して)

(東筑紫短期大学研究紀要第 48 号 (2017 年 12 月))

(概要)

幼稚園生活では、皆が一緒に過ごすために片付けをすることが必要である。片付けのやり方や必要性に気付き、体験を繰り返しながら、行動できるようになっていくことが大切である。子どもの片付けに対して、子どもに合った言葉がけや対応の仕方を学生のアンケート、アクティブ・ラーニングを通して研究を行う。

5. 「子どもが育つ伝統行事への取組」(学生への授業内容を通して)

(東筑紫短期大学研究紀要第 49 号 (2018 年 12 月))

(概要)

幼稚園、保育所に就職して行事に遭遇する。保育者は子どもに行事に関して援助、指導を行う。学生が行事に関心を持ち、目を向け、行事内容を把握し、時期由来をよく理解していなければ子どもへ伝える事はできない。行事に関して学生がどのように捉えているかアンケートによりを把握し、今後の授業展開へと繋げる研究をおこなった。

6. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の取組 (2)

(東筑紫短期大学研究紀要第 49 号 (2018 年 12 月))

(概要)

本学保育学科学生のアクティブ・ラーニングを指導する中で、本学附属幼稚園園児を対象にいわゆる「ごっこ遊び」が幼児の遊びの発展や気づきに及ぼす影響を調査した。「お店屋さんごっこ」を素材に園児が身近な素材に興味を持ち、その仕組みや遊びをより楽しくするための工夫がみられことを明らかにした。

7. 「言葉あそびの指導法」(保育現場で使える言葉あそびの習得法)

(東筑紫短期大学研究紀要第 50 号 (2019 年 12 月))

(概要)

当校の保育内容「言葉」の授業で行った「言葉あそび」、特に「わずかの空き時間でできる言葉あそび」を検討課題とした。保育現場で行っている「言葉あそび」との比較を行うことで学生の指導法に考察を加えた。

8. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の取組 (4)

(東筑紫短期大学研究紀要第 51 号 (2020 年 12 月))

(概要)

教職の免許状を取得するために、学生による個人の課題を明確にし、「研究活動計画書」を作成し、課題解決の方法を提示した。学生の指導は個別に行い、授業内容をまとめた。毎時間アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を展開、学生が保育士としての確かな実践力を修得する研究となった。

9. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の取組 (5)

(東筑紫短期大学研究紀要第 52 号 (2021 年 12 月))



(概要)

保育・教職実践演習の授業において、アクティブ・ラーニングを取り入れたグループ研究活動を行った。しかし、コロナ禍のため個人研究へと移行したが最終的にはグループによる研究発表を行い、「研究活動計画書」を作成し、課題解決の方法を提示した。その結果、学生が保育士としての確かな実践力を修得する研究となった。

10. 「子どもの遊び（虫とり）」

(東筑紫短期大学研究紀要第54号 (2023年12月))

(概要)

子どもの生活すべてが「遊び」である。その「遊び」によって子どもは多くのことを学んでいる。子どもは遊びを通じて必要な能力を身に付けて成長するものである。遊びの虫とりで図鑑などから虫の名前、飼育方法を知る。虫とりの得意な子どもから親しみをもって聞いたり、話したりコミュニケーションをとる。

主な社会活動

【講演会】

・「親の笑顔・子どもの笑顔 (2013年12月)

東筑紫短期大学附属幼稚園にて講演を行う。父親・母親の子育ての役割、及び親のけんか、子どものけんかから学ぶもの、子どもの安全は子ども自ら守るものであり、そのために今、親ができる子育てとは何かなどに関して話す。

・「これからの保育に向けて～主任の役割と人材育成について」(2019年8月)

筑豊地方保育協会保育士会主催、会場直方いこいの村にて筑豊地方保育士研修会講演を行う。主任の立場、後輩職員教育の在り方、職場の充実について話す。様々な悩みをもつ主任が、自らの役割を再認識し、職員育成に役立つことを願い講演を終えた。

・「出前講義」(2020年3月)

会場：福岡県立中津北高校2年生対象で保育に興味があわくように、子どもの保育の誘導の時使う「むすんでひらいて」のシアターを実演、素話もする。幼稚園、保育園(所)・施設の保育形態、所轄、役割・資格などに関して講義をする。

・「出前講義」(2021年2月)

東筑紫学園高等学校にて1年生を対象として幼稚園・保育所の保育者としての仕事についてアクティブ・ラーニングをした。

・「集団で育つ保育」(2021年3月)

築上町築上社会福祉センターにて行われた築上地方保育協会主催、京20筑保育協会保育士会研究部会研修会の講義を行った。コロナ禍のため、ビデオを使つての研修であった。鼓笛隊編成及び子どもへの指導に関しては実務体験を取り入れての講義を行った。

・RKB「タダイマ」の番組内特集「声かけ変換表」紹介コメント(2021年9月)

特集「子育て」の中の「声掛け変換表」の子どもに対して「声かけ」を変えることで子どもの成長にどのような影響があるかのコメントを述べた。

・「集団で育つ保育」(2021年10月)

築上町築上社会福祉センターにて行われた築上地方保育協会主催、京筑保育協会保育士会研究部会研修会の講義を行った。来年度、ポッポ保育園が研修発表を行う資料の研修の助言を行った。

・「出前講義」(2022年3月)

福岡県立小倉商業高等学校にて1・2年生対象に保育学・幼児教育について模擬授業を加えて講義をした。

・「出前講義」(2022年12月)

東筑紫学園高等学校にて1年生を対象として「子どもの遊び」についてアクティブ・ラーニングをした。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「出前講義」(2022年3月) 福岡県立小倉商業高等学校にて1・2年生対象に保育学・幼児教育について模擬授業を加えて講義をした。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「出前講義」(2023年3月) 東筑紫学園高等学校にて1年生を対象として「子どもと関わる仕事」についてアクティブ・ラーニングをした。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「新採幼稚園教諭研修」講師(2023年4月) 北九州市立教育センターにて63名の新採用教員の参加者にテーマ「基礎的素養・幼稚園教育の基本・教師の援助と役割」について講話を行った。参加者はメモを取り、真剣に受講していた。本校の卒業生が多数いて学生の時とは違った受講態度に成長を感じた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・第66回 北九州市私立幼稚園連盟教師研修大会 助言者(2023年7月) 第66回 北九州市私立幼稚園連盟教師研修大会 第6分科会 こじか幼稚園発表の「つなげようSDGsに関する保育活動」の助言を行った。SDGsを考える保育の中で日頃から一人一人の子どもに向き合う保育、子どもの主体性を伸ばす保育を心がける事、自分で判断する体験の必要性を考える保育を行うように助言した。
	【子育て支援事業】
	<ul style="list-style-type: none"> ・長行幼稚園にて保護者への子育て相談及び親子遊び指導 (2013年度9回) 動物・パズルあそびのゲームで遊ぶことで動物のかたちに興味をもたせる。ゲームを行うことにより、保育内容「人間関係」の友達と順番を守りながら進めていくゲームについて学ばせる。また、動物の鳴き声のまねっこ遊びから動物の動きのまねっこ遊びへと展開させる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業：長行幼稚園にて保護者への子育て相談及び親子遊び指導 (2014年2月) 丸めた軍手とフェルトでヨウヨウづくりをする。フェルトを切って軍手に貼って模様を作った。ヨウヨウで保護者と色々な遊びが展開される。子どもと保護者がヨウヨウで的当てをする。最後に誰が一番沢山ヨウヨウができるか競争を行う。保護者が数を数えると喜ぶ子どもが増えてきた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 (2014年7月) 紙芝居「かわるよ かわるよ」を見た後に、親子で動くおもちゃの製作「びっくりコップ」づくりをする。紙コップの中からスチロール球の動物うさぎ・猫・パンダ・犬などの顔が飛び出すおもちゃを製作した。親子でそのおもちゃを使って、飛び出す動物で「こんにちは」「お年はいくつ?」「何してるの?」など言葉遊びに発展する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 (2014年7月) 「親子で動くおもちゃをつくろう」のテーマで製作をする。絵本「おかあさんどこ」の絵本を読み、「ばたばた鳥さん」をつくる。紙芝居を楽しそうに集中して聞き、製作では親子が協力して羽がばたばた動く鳥さんを、紙皿を使って全員でつくる。その後、そのおもちゃを使って動かして遊ぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 (2014年7月) 「親子で作って遊ぼう!!からくりおもちゃ」のテーマでエプロンシアター「野原のかくれんぼ」をする。トイレットペーパーの芯を4つ使って動く蛇の製作は参加年齢が異なるので、年齢に応じて、製作過程を変えて行う。出来上がった作品を使ってくねくね動かして遊ぶ。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 (2015年6月) 「親子で作って遊ぼう!!からくりおもちゃ」のテーマで製作をする。帽子を使っての手品で子どもが集中する。絵本「あめぽっつん」で梅雨のイメージをもたせ、紙コップ、色画用紙でカエルを親子で話しながら楽しくつくる。アジサイの花をつくり、ボールに見立てカエルを倒す遊びへと展開する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 学生による指導助言 (2015年7月) 東筑紫短期大学つくしっこルームにて子ども・保護者60名(3日間合計)を対象に行う。保育学科1・2年生有志がペープサート・パネルシアター・手遊び・わらべ歌を行った。子どもの年齢にあった内容・事前準備・環境構成を学生が企画し、指導者(寺本)がその内容の調整・誘導方法を助言調整した。子どもとのかかわり方を経験した学生は、今後の実習につながる学びがあったと感想を述べた。



・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 学生による指導助言
(2016年7月)

東筑紫短期大学つくしっこルームにて子ども・保護者35名(3日間合計)を対象に行う。対象年齢が低かったため、誘導の途中で子どもの動きに対応することの難しさを学生が経験できた。学生による反省事項においても、その時の指導者の対応を見て、子どもへの誘いがけの言葉などを学ぶことができたことと記載されていた。

・子育て支援事業：到津文化会館(乳幼児及び保護者子そだて相談学生引率助言)
(2017年4月)

北九州市立子ども文化会館で催された乳幼児と保護者、および妊婦の「到津子育て相談」に学生が参加し、手遊びや保育を行った。乳幼児の身長、体重測定などを見学、学生は貴重な体験をした。その際、コーナーでの学生の援助指導を行った。

・子育て支援事業：東筑紫短期大学附属幼稚園にて親子遊び指導 (2018年2月)

「ふれあいあそび」「つくってあそぼう」のテーマでおひな様をつくり遊んだ。保護者より「子どもが興味をもち、楽しんで子どもがつくっていた」「我が子が集中して作っていたのでうれしかった」などの感想が聞かれた。

・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 学生による指導助言
(2018年3月)

東筑紫短期大学にて子ども・保護者23名(3日間合計)を対象に行う。保育学科2年生有志がペーパークラフト・パネルシアター・手遊び・わらべ歌・絵本読み・リズム遊びを行った。子どもの年齢にあった内容・事前準備・環境構成を学生が企画し、指導者(寺本)が内容の調整・誘導方法を確認助言した。

・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 (2018年10月)

「親子で遊ぼう！」ふれあいあそびのテーマで製作、ふれあい遊びを行った。赤とんぼを作り飛ばしその後ふれあい遊びをした。年齢が違ったが、保護者が、「家ではしない製作遊び、わらべ歌が出来て親子で楽しむことができた」「周りの子どもさんとの関わりできた」「自分の子どもの落ち着きのなさを感じたが、先生からのアドバイスを受けられてよかった」との感想が聞かれた。

・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて親子遊び指導 学生による指導助言
(2019年2月)

東筑紫短期大学にて子ども・保護者(27名)を対象に行う。を行う。保育学科生1・2年生有志がエプロンシアター・手遊び・わらべ歌・ふれあい遊び・大型絵本読みを行った。年齢が低い子どもの危険が伴う行動の援助の難しさを肌で感じた学生が多かった。また、わらべを授業で学生相手に行ったときはスムーズに進んだけれど、実際に子どもの前で進むと進め方、説明の仕方が難しかったと感じ、今後の自己研鑽が必要だと述べている学生がいた。2年生が1年生にアドバイスを残すところも見られた。

・子育て支援事業：到津市民センター親子遊び指導 学生による指導助言 (2019年4月)

地域社会との連携及び社会貢献の一環として到津市民センター主催「こいのぼりまつり」に短大保育学科学生有志7名が参加する。こいのぼりの製作や、様々なイベントの補助を学生が行う。その際の指導助言を行った。終わった後、学生から年齢によって子どもの対応の難しさを感じたとの声が聞かれた。

・子育て支援事業：直方親子遊び指導 学生による指導助言 (2019年10月)

直方市図書館コミュニティのおがた小ホールにて直方市主催「図書館こどもまつり」で保育学科生8名(希望者)が親子子育て支援を行った。手遊びパネルシアター、絵本読みを実演した。学校での練習の際は1年生で初めての経験で恥ずかしがる光景があったが、練習を重ねるごとによくなり、直方の実演では堂々と子どもの様子を見ながら声の表情を変えて演じ、達成感を感じたようであった。終わった後、自己反省を行い、指導者の助言も素直に受け入れていた。授業では味わえない子どもや保護者へ支援する言葉がけの学びなどアクティブな活動となった。

**・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて子育て支援（2020年2月）**

「第3回 九州沖縄のこども食堂がつながる研究会 in 北九州」

本校において、九州沖縄の子ども食堂・こどもの居場所の運営者が研修会を開催した。運営者が語りあい・繋がることで、子どもたちや地域の人々が安心して過ごせる居場所づくりを推進し、持続可能な社会の実現に向けての研修会であった。その際、出席者の子どもの支援を行う。7ヶ月の乳児より小学生まで16名で、年齢差があった。製作できる子どもは牛乳パックで「けん玉づくり」を行い、製作したもので遊んだ。その他、ブロック遊びをする子どもなど、楽しい雰囲気であった。

・子育て支援事業：認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園4階子育て支援室（2021年7月）

1歳から2歳までの子どもと保護者にてわらべ歌と子育てトークを行った。

コロナ禍、子どもが戸外にて遊ぶことに制限されている現状、子どもが1時間自分のやりたい遊び、また、保護者の子育てに困っていること、楽しいことなどを他の保護者と共有し、相談、助言を行った。すぐに友達の輪に入れなかった子どもが、笑顔で園を後にしてくれた。保護者からこのような機会を継続してほしいとの声が聞かれた。

・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて子育て支援（2023年1月）

2歳から4歳までの子どもと保護者にて「子育て・親育ちの会」で製作活動を行った。今年の干支、ウサギの折り紙カレンダーでマジックにて個性あふれる顔を描く。色紙も自分の好きなものを選んだ。教材選び、製作過程にて親子の会話は和やかな雰囲気であった。1組の保護者が仕事で付き添うことができなかったため、祖父母が参加。笑顔で製作をしていた。孫育てに苦戦し心配されていたので、相談に応じた。

・子育て支援事業：東筑紫短期大学つくしっこルームにて子育て支援（2023年2月）

学生と教員で0歳から6歳までの子どもと保護者に、エプロンシアター、わらべうた、大型絵本、触れ合い遊びなどをして、子育て支援を行った。年齢差があったが学生が事前練習を数回行っていった成果が出て、どの子どもも集中して楽しんでいた。保護者から「知らない人のいる中で子どもが楽しそうに参加出来よかった。」「学生さんが笑顔で子ども達と関わってくれてうれしかった」との言葉をいただいた。学生からは、「子どもと保護者との関わりを見てよかった」「保護者同士や保護者と先生が育児相談をしているところをみて勉強になった」との声が上がって、有意義な時間となった。

【地域社会貢献活動】**・平成27年度福岡県私立幼稚園振興協会「第34回教師研修会分科会」指導・助言**

(2015年7月)

第一分科会『子どもの発達とさまざまな保育の実践』のテーマででんき幼稚園が発表した。その分科会の助言を行った。事例をあげ援助が必要な子どもに対しての保育者の関わり、言葉がけ等、具体的な事例をあげ、参加教師自身の保育の在り方を見直す研修大会となった。

・第2回幼児教育センター設置プロジェクト会議アドバイザー（2022年5月）

北九州市立生涯学習3階会議室にて、幼児教育センター設置プロジェクト会議アドバイザーとして出席した。

・第3回幼児教育センター設置プロジェクト会議アドバイザー（2022年8月）

西日本総合展示場新館3階会議室にて、幼児教育センター設置プロジェクト会議アドバイザーとして出席した。幼児教育センターの役割・幼児教育に関わる関係行政機関の所轄業務について成案を作成した。

【教員免許状更新講習】**・【選択領域】 幼児の言葉を育てる子どもと教師の関わりについて（2017年8月）**

(幼児の言葉を育てる教師の関わりについて)

子どもが言葉で表現することの意欲と力をどのように育てるか、その援助のあり方を考えてみる。子どもが絵本を見たり、物語を聞いたりして、言葉の響きや美しさ、楽しさに気づき、未知の世界に出会う。その様々な思いを身近な材料で人形を創作し、その人形を使って遊びを演習する。



	<ul style="list-style-type: none">・【選択領域】 幼児の言葉を育てる子どもと教師の関わりについて (2018年8月) 子どもが言葉で表現することの意欲と力をどのように育てるか、その援助の在り方を考えた。手づくり人形を使つての遊びも演習した。・【選択領域】 幼児の言葉を育てる子どもと教師の関りについて (2019年8月) 幼児が見たり、聞いたり、おたがいに言葉を交わすことの喜びを経験し、言葉の面白さを知る プロセスについて学習をした。・【選択領域】 幼児の言葉を育てる子どもと教師の関りについて (2020年8月) 領域「言葉」の講座は、言葉の面白さを知るプロセスについて人形を作り、それを使って学習する。・【選択領域】 幼児の言葉を育てる子どもと教師の関りについて (2021年8月) 領域「言葉」の講座は、身近な材料で人形を創作活用して、言葉の表現力を高める言葉遊びの楽しさを再確認し、言語活動の充実を図ることを教授した。 領域「環境」は周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うための活動について教授した。 <p>【シニアカレッジ講師】</p>
	<ul style="list-style-type: none">・テーマ「昔の遊び・今の遊び」(2022年8月) 55歳以上19名の高齢者に「昔の遊び・今の遊び」のテーマで講義をする。教育要領改訂に伴い教育現場での「心の教育」の実践において、遊びを通じて「折れない心」を育む話をした。あやとり・ハンカチ遊び・ルービックキューブなどを行い、今後の大人と子どもの関わりについて考えた。
所属学会	日本保育学会
受賞歴	北九州私立幼稚園連盟永年30年勤続表彰 (2003年7月)

マエカワ コウイチ
前川 公一 MAEKAWA Koichi 特任教授

所 属	東筑紫短期大学 保育学科	
担 当 科 目	〔保育学科〕 ・保育原理 ・教育課程・保育計画と評価 ・保育・教職実践演習（幼稚園）	
専 門 分 野	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教職教育学 ■ 教育方法学 ■ 保育学 ■ 算数・数学教育学 	
最 終 学 歴	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 学校教育専攻	
学 位	修士（教育学）	
職 歴	<p>北九州市立小学校教諭 (昭和47(1972)年4月～昭和63(1988)年3月)</p> <p>北九州市立教育センター指導主事 (昭和63(1988)年4月～平成5(1993)年3月)</p> <p>北九州市立小学校教頭 (平成5(1993)年4月～平成8(1996)年3月)</p> <p>福岡教育大学 非常勤講師 ・教員養成実地指導（算数科教育研究）担当 (平成5(1993)年4月～平成20(2008)年3月)</p> <p>北九州市立公立小学校校長 (平成8(1996)年4月～平成22(2010)年3月)</p> <p>東筑紫短期大学 保育学科 准教授 (平成22(2010)年4月～平成27(2015)年3月)</p> <p>兵庫教育大学大学院 非常勤講師 ・教育実践課題研究、教育実践開発実習 担当 (平成25(2013)年4月～平成28(2016)年3月)</p> <p>東筑紫短期大学 保育学科 教授 (平成27(2015)年4月～令和2(2020)年3月)</p> <p>東筑紫短期大学 保育学科 学科長 (平成28(2016)年4月～平成30(2018)年3月)</p> <p>九州栄養福祉大学 学生部長 (平成30(2018)年4月～令和2(2020)年3月)</p> <p>東筑紫短期大学 学生部長 (平成30(2018)年4月～令和2(2020)年3月)</p> <p>東筑紫短期大学 保育学科 特任教授 (令和2(2020)年4月～現在に至る)</p>	
教育上の業績	<p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『幼児期の数量感覚を豊かにする活動』 (メールブック授業アップわくわくクラブ,2014・8) 2. 『幼児の数量感覚はどのように育てるか』 (メールブック授業アップわくわくクラブ,2014・9) 3. 『幼児の図形、時間、空間の感覚はどのように育てるか』 (メールブック授業アップわくわくクラブ,2014・10) 4. 『実習生における「指導案」作成の現状と課題についての一考察』 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2016) 5. 『病院内保育施設の現状と課題と』 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2016) 6. 『部分指導計画案の作成に関する学生の実態と指導の在り方』 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2017) 7. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の実践1 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2017) 8. 保幼小連携・接続の在り方についての一考察 (東筑紫短期大学研究紀要 2018) 9. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の実践2 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2018) 10. 幼少の円滑な接続を図る算数教育の推進1 (東筑紫短期大学研究紀要 2019) 11. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の実践3 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2019) 12. 幼少の円滑な接続を図る領域「環境」における保育活動の在り方2 ～数量や図形の感覚を豊かにする活動を通して～ (単著) (東筑紫短期大学研究紀要 2020) 13. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の実践4 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2020) 14. 改訂学習指導要領に基づく算数科学習指導案の作成 ～どこを、どのように変えていくのか～ (東筑紫短期大学研究紀要 2021) 15. アクティブ・ラーニングによる「保育・教職実践演習」の実践5 (共著) (東筑紫短期大学研究紀要 2021) 16. 新学習指導要領に基づく算数科学習指導の在り方 (東筑紫短期大学研究紀要 2022) 17. 「数量や図形」の感覚を豊かにする幼児教育の在り方 (東筑紫短期大学研究紀要 2023) 	



主な研究活動	<p>【著書】</p> <p>『個を生かす集団づくりの思想』（分担執筆）（黎明書房,1989・4）</p> <p>『学級・授業づくりハンドブック』（分担執筆）（黎明書房,1990・12）</p> <p>『学級経営重要語 300 の基礎知識』（分担執筆）（明治図書,1991・3）</p> <p>『こうすれば学力は伸びる』（分担執筆）（ぎょうせい,2006・6）</p> <p>『学びの質を高める算数科学習指導』福岡県算数教育研究会著 会長（2008・1）</p> <p>『新時代を担う小学校経営の基本』全国連合小学校校長会（分担執筆）（第一広報社,2009・5）</p> <p>『365 日の算数授業づくりガイドブック』志水廣・前川公一編著（明治図書,2010）</p> <p>『365 日の算数学習指導案 1・2 年編』志水廣監修・前川公一編著（明治図書,2011）</p> <p>『365 日の算数学習指導案 3・4 年編』志水廣監修・前川公一編著（明治図書,2011）</p> <p>『365 日の算数学習指導案 5・6 年編』志水廣監修・前川公一編著（明治図書,2011）</p> <p>『算数教科書の「図」はこう教える』志水廣監修・前川公一編著（明治図書,2015）</p> <p>『重要単元の学習指導案&板書モデル 35』志水廣監修・前川公一編著（明治図書,2013）</p> <p>『算数教科書の「図」はこう教える』志水廣監修・前川公一編著（明治図書,2015）</p>
	<p>【最近の主な論文、報告書、手引き書など】</p> <p>『絶対評価はだれのため』（分担執筆）学校運営 学校運営研究（明治図書,2003・2）</p> <p>『6 年単元体積での発展的な学習』（分担執筆）楽しい算数授業（明治図書,2003・3）</p> <p>『成功する授業の進め方』（分担執筆）授業研究（明治図書,2004・3）</p> <p>『教育課程編成資料 実践事例集―指導と評価の一体化』（分担執筆）北九州市教育委員会(2004・3)</p> <p>『小学校算数科特定課題調査研究最終報告書』監修 北九州市教育委員会（2005・12）</p> <p>『確かな学力向上のための実践事例集』（分担執筆）福岡県教育委員会（2005・3）</p> <p>『算数が好きになる問題』（分担執筆）新しい算数の授業（明治図書,2006・6）</p> <p>『個を伸ばし、生かす指導』（分担執筆）新しい算数教育（東洋館出版,2006・7）</p> <p>『伝え合う力を高める説明文の指導の工夫』編著 北九州市教育委員会（2008・3）</p> <p>『確かな学力を育てる算数科学習指導の創造(1)』編著 北九州市教育委員会（2007・3）</p> <p>『かずのピラミッド』（分担執筆）楽しい算数の授業（明治図書,2007・3）</p> <p>『確かな学力を育てる算数科学習指導の創造(2)』編著 北九州市教育委員会（2008・3）</p> <p>『地域の特性を生かした授業』（分担執筆）楽しい算数の授業（明治図書,2008・1）</p> <p>『数学的思考力・表現力を高める算数科学習指導の創造(1)』編著 北九州市教育委員会（2009・3）</p> <p>『北九州市立小学校移行措置資料』監修 北九州市教育委員会（2009・3）</p> <p>『算数・数学教育の改善に経営的視点からの教師のスキルアップ』 巻頭言 九州数学教育会（2009・4）</p> <p>『管理職実務ハンドブック』（分担執筆）北九州市教頭会（昇文印刷 2010・3）</p> <p>『思考力・表現力をはぐくむ算数授業』（分担執筆）楽しい算数の授業（明治図書,2010・6）</p> <p>『数学的思考力・表現力を高める算数科学習指導の創造(2)』編著 北九州市教育委員会（2010・3）</p> <p>『北九州市立小学校移行措置資料』監修 北九州市教育委員会（2010・3）</p> <p>『365 日の授業づくりガイドブック』（分担執筆）楽しい算数の授業（明治図書,2011・4）</p> <p>『活用力・思考力・表現力を育てる 365 日の算数科学習指導案』（分担執筆） 楽しい算数の授業（明治図書,2012・1）</p> <p>『観点別学習状況の評価を生かして』（分担執筆）楽しい算数の授業（明治図書,2012・3）</p>
主な社会活動	<p>【最近の主な研究大会や研究発表会、研修会での講師、指導助言者等】</p> <p>・第 57 回九州算数・数学教育研究（福岡）大会 指導助言 東箱崎小学校 (平成 15(2003)年 7 月)</p> <p>・北九州市主催『市民と共に考える子どもの未来をひらく教育』 パネラー 北九州国際会議場 (平成 21(2009)年 10 月)</p> <p>・北九州市教育委員会委嘱『学校大好きオンリーワン事業』講話 門司中央小学校 (平成 21(2009)年 9 月)</p>



・福岡県『教育力向上福岡県民フォーラム』 パネリスト 北九州国際会議場	(平成 21(2009)年 12 月)
・京都郡みやこ町立久保小学校研究発表会 講演 久保小学校	(平成 22(2010)年 10 月)
・添田町立真木小学校研究発表会 講演 真木小学校	(平成 22(2010)年 11 月)
・八女市立黒木小学校発表会 講話	(平成 22(2010)年 6 月)
・嘉麻市教育委員会主催学力向上研修会 『学力向上と授業改善の視点』 講演 下山田小学校	(平成 22(2010)年 8 月)
・北九州市教育委員会委嘱 『学力向上ステップアップ事業推進指定校実践報告会』講演 城野小学校	(平成 22(2010)年 11 月)
・北九州市教育委員会委嘱『学校大好きオンリーワン事業』講話 門司中央小学校	(平成 22(2010)年 9 月)
・第 55 回九州ブロック PTA 熊本大会 第一分科会 指導助言 熊本市総合体育館	(平成 22(2010)年 10 月)
・第 43 回 北九州市算数研究会夏期研究大会 指導助言 玄海ロイヤルホテル	(平成 22(2010)年 8 月)
・平成 22 年度 北九州市立小学校教頭会夏季研究大会 『今、副校長・教頭に期待すること』講話 小倉リーセントホテル	(平成 23(2011)年 8 月)
・平成 22 年度 北九州市立小学校教頭会冬期研究大会 『教師の授業力向上を図る機能的な組織運営』講話 小倉リーセントホテル	(平成 24(2012)年 1 月)
・第 44 回 北九州市算数研究会夏期研究大会 指導助言 玄海ロイヤルホテル	(平成 23(2011)年 8 月)
・北九州市教育委員会委嘱 『学力向上ステップアップ事業推進指定校実践報告会』講話 城野小学校	(平成 23(2011)年 9 月)
・北九州市教育委員会委嘱『学校大好きオンリーワン事業』講話 門司中央小学校	(平成 23(2011)年 11 月)
・平成 23 年度 筑豊地区小学校教頭研究大会 『授業改善と教頭の役割』講演 川崎町勤労青少年ホーム	(平成 23(2011)年 11 月)
・京築地区算数・数学教科推進合同研修兼特別研修会 講話 京築教育事務所	(平成 24(2012)年 7 月)
・第 94 回全国算数・数学教育研究大会 福岡大会 指導助言者 九州国際大学	(平成 24(2012)年 7 月)
・第 45 回 北九州市算数研究会夏期研究大会 指導助言 玄海ロイヤルホテル	(平成 24(2012)年 8 月)
・第 57 回福岡県へき地・小規模校教育研究大会 講演 北九州市立伊川小学校	(平成 24(2012)年 10 月)
・北九州市教育委員会委嘱『学校大好きオンリーワン事業』講評 門司中央小学校	(平成 24(2012)年 11 月)
・北九州市教育委員会委嘱 『学力向上ステップアップ事業推進指定校実践報告会』講話 城野小学校	(平成 24(2012)年 11 月)
・熊本県山鹿市立中富小学校自主研究発表会第 20 回記念大会 『わかる、活かす、好きになる算数科授業の創造』講話、パネラー 中富小学校	(平成 25(2013)年 6 月)
・第 47 回北九州市算数研究会夏期研究大会 指導助言 玄海ロイヤルホテル	(平成 25(2013)年 8 月)
・北九州市教育委員会委嘱	(平成 25(2013)年 11 月)



- 『学力向上ステップアップ事業推進指定校実践報告会』講話 城野小学校
・上毛町教育委員会指定、上毛町学力向上検証委員会研究指定発表会講演
上毛町立友枝小学校
(平成 25(2013)年 11 月)
- ・小倉南区小学校長会『学力向上へ向けての校長の役割』講演
沼市民センター
(平成 26(2014)年 2 月)
- ・第 48 回北九州市算数研究会夏期研究大会 指導助言 玄海ロイヤルホテル
(平成 26(2014)年 8 月)
- ・北九州市教育委員会委嘱
『学力向上ステップアップ事業推進指定校実践報告会』講演 城野小学校
(平成 26(2014)年 11 月)
- ・北九州市教育委員会委嘱『学校大好きオンリーワン事業』講話
門司中央小学校
(平成 26(2014)年 9 月)
- ・北九州市教育委員会委嘱
『学力向上ステップアップ事業推進指定校実践報告会』講話 城野小学校
(平成 26(2014)年 10 月)
- ・北九州市立教育センター研修会
『数学的思考力・表現力をはぐくむ授業のあり方』講話
(平成 27(2015)年 7 月)
- ・第 49 回北九州市算数研究会夏期研究大会 指導助言
玄海ロイヤルホテル
(平成 27(2015)年 8 月)
- ・北九州市教育委員会委嘱『学校大好きオンリーワン事業』講話
門司中央小学校
(平成 27(2015)年 9 月)
- ・東筑紫短期大学附属幼稚園講演会『今、家庭教育に求められているもの』附属幼稚園 2 階講堂
(平成 28(2016)年 2 月)
- ・平成 28 年度北九州市私立幼稚園連盟教職員研修会
『保護者と上手に付き合う魔法のコミュニケーション』
北九州市立商工貿易会館
(平成 28(2016)年 8 月)
- ・第 50 回北九州市算数研究会夏期研究大会 指導助言 玄海ロイヤルホテル
(平成 28(2016)年 8 月)
- ・教員免許状更新講習「幼稚園教育の最新情報」講師 東筑紫短期大学
(平成 28(2016)年 8 月)
- ・北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 シニアカレッジ 講師
東筑紫短期大学
(平成 28(2016)年 10 月)
- ・教員免許状更新講習「幼稚園教育の最新情報」講師 東筑紫短期大学
(平成 29(2017)年 8 月)
- ・第 50 回北九州市算数研究会夏季研究大会 指導助言 玄海ロイヤルホテル
(平成 29(2017)年 8 月)
- ・北九州市立年長者研修大学校 周望学舎 シニアカレッジ 講師
東筑紫短期大学
(平成 29(2017)年 10 月)
- ・平成 29 年度 幼小連携 (尾倉幼稚園・皿倉小学校) 事業 指導講師
(平成 30(2018)年 7 月)
- ・平成 30 年度北九州市立幼稚園連盟教師研修大会 助言者
(平成 30(2018)年 7 月)
- ・幼稚園宿泊研修会北九州大会「新しい幼稚園教育の動き」講師 かんぼの宿
(平成 30(2018)年 8 月)
- ・第 51 回北九州市算数研究会夏季研究大会 指導助言
(平成 30(2018)年 8 月)
- ・教員免許状更新講習「幼稚園教育の最新情報」講師 東筑紫短期大学
(平成 30(2018)年 8 月)
- ・第 52 回北九州市算数研究会夏季研究大会 指導助言
(令和元(2019)年 8 月)
- ・北九州市立若園小学校授業研究会指導助言
(令和 5 (2023) 年 11 月)
- ・北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会専門委員
(令和 2(2020)年 4 月～
令和 4 年 3 月)



学校法人 東筑紫学園

東筑紫短期大学

HIGASHI CHIKUSHI JUNIOR COLLEGE

	一般社団法人 理数教育研究所 (リムス九州 自由研究 審査委員)	(平成 24(2012)年～現在に至る)
所属学会	日本数学教育学会 日本保育学会	(平成 12(2000)年～現在に至る) (平成 22(2010)年～現在に至る)
受賞歴	北九州市教職員永年勤続 (30 年) 表彰 全国連合小学校長会感謝状 福岡県小学校長会感謝状 平成 22 年度 福岡県教育文化表彰受賞 公益財団法人 九州数学教育会表彰 全国連合小学校長会 75 周年功績表彰	(平成 14(2002)年 1 月) (平成 23(2011)年 4 月) (平成 24(2012)年 7 月) (平成 22(2011)年 4 月) (平成 28(2016)年 4 月) (令和 5(2023)年 4 月)

所 属	東筑紫短期大学 保育学科
担 当 科 目	[保育学科] ・保育内容「言葉」 ・幼児の理解と教育相談 ・教職実践演習
専 門 分 野	■教育学 中学・高等学校教科「国語」 ■教職概論 保育内容「言葉」 幼児理解 中学国語 高等学校国語
最 終 学 歴	福岡教育大学 教育学部中学課程国語科 卒業
学 位	学士
職 歴	福岡県立門司商業高等学校 教諭 (昭和49年4月～昭和60年3月) 福岡県立豊津高等学校 教諭 (昭和60年4月～平成8年3月) 福岡県教育庁指導第一部高校教育課 指導主事 (平成8年4月～平成11年3月) 福岡県立小倉東・田川高等学校 教頭 (平成11年4月～平成14年3月) 福岡県教育庁教育振興部高校教育課主任指導主事 (平成14年4月～平成16年3月) 福岡県立東鷹・小倉東・青豊・育徳館中学校・高等学校 校長 (平成16年4月～平成23年3月) 東海大学福岡短期大学 学長付 (平成23年4月～平成24年3月) 学校法人戸早学園 北九州リハビリテーション学院長 (平成24年4月～令和5年3月) 北九州保育福祉専門学校 常任理事 豊前市教育委員会教育委員・吉富町外一中学校組合 教育委員会教育委員 (平成25年12月～令和4年1月) 東筑紫学園東筑紫短期大学保育学科特任教授 (令和5年4月～現在に至る)
教育上の業績	○福岡県教育委員会教育庁指導第一部高校教育科の指導主事として、科目「国語」における学習指導要領の改訂や授業改善などについて、及び教育課程編成など、教務関係全般を中心に要請のあった学校や科目による研修会等で、趣旨説明や注意点を喚起すべく説明と指導を行った。 ○全国普通科高等学校校長会県代表理事兼福岡県高等学校校長会長として、普通科高校の活性化に関する講演等を行う。国立大学の早期推薦入試時期の改善に取り組み、それを全国校長協会が取り上げることとなり、文部科学省と国大協側の理解を得て入試改善が実現し8月以降の入試となった。 ○【過去の課程認定委員会における教員審査(単独担当「可」)】 教職概論(平成30年度、北九州保育福祉専門学校 校長・専任教員) <再課程認定>
主な研究活動	【学術論文】 1.領域「言葉」の理解と児童文化財における一考察 上森哲生 丸田敦子共著 (概要) 上森が領域「言葉」の内容として、幼稚園教育要領や保育所保育指針をもとにして、心情・意欲・態度の記されている「ねらい」と「内容」および「内容の取り扱い」の重点化と解説を行い、五領域それぞれが互いに繋がりのある確認と言葉掛けや言葉の機能、言葉の成立と以前の行為等との比較を行い、また、領域において全てが関連性が深いことを認識した。とりわけ領域「表現」「人間関係」「環境」との関係性は深い。 丸田は児童文化財の紹介やことば遊び等の面白い言葉の活動の実践と紹介を行い、絵本の読み聞かせとして学生に毎回二人ずつの実践を行った記録と、子育ての実践からの報告と、特に「紙芝居」の特徴と実践における内容と留意点をまとめた。 2.低学年の国語教育方法に関しての一考察 (概要) 小1プロブレムの解消に向けて、幼保小の架け橋プログラムが設置され、幼児期の終わりまでに備えてほしい十の姿を、幼児期から小学校への移行をスムーズに行えるよう配慮している。その際に子供の意思疎通を図る上で、保育内容「言葉」での学びや言葉の機能や獲得は必須の基盤となる。その基盤を通して、幼児期と小学校とで求められる共通の三つの資質・能力の育成時に、幼児期で児童文化財の一つとして、絵本の読み聞かせがあるが、このビジュアル面を活用しての幼小の接続期における効果的な授業への試みを提案した。絵から文章へ、



またその逆のパターンも取り入れることで、幼児にとって、低学年の小学生にとって、三つの資質・能力の育成に効果的な方法と考えている。加えて、個人差も生じることを考慮して、個別最適な学びと協働的な学びを実践する上で、ICTの活用も大きな効果をもたらすのではないかと考えている。

3. これからの教職に求められる資質・能力の一考察

(概要) 昭和の時代の教育方法は、教壇での教師の知識や技能の伝達を中心とした講義であったが、児童生徒の変容もあって、平成時代になって、アクティブラーニングと称し、子供の主体性を考慮して、対話型の教授方法となってきた。令和時代はさらに一斉授業から個別的な指導に焦点化され、「個別最適な学びと協働的な学び」として、さらに子供の主体性を重視した教授方法となっている。指導のあり方はこのように変遷しても、また、いつの時代においても、共通しているのは、児童生徒への教師の関わり方である。その方法の一つとして、いわゆる幼児期のアセスメントをもっと小学校以降の学校教育にも活用すべきと提案している。加えて特別支援教育におけるアタッチメントも併用すると効果的な指導ができるのではないかと提案した。今後の教師の子どもへの関わり方の効果的な方法と考える。

4. 保育者養成と教育課程編成の工夫についての検討

(概要) 「教育は人なり」と言われるが、倉橋惣三の唱える「心持ち豊かな保育者＝教育者」の育成に向けて、教師の資質能力の開発や育成において、カリキュラムをどう創り上げるのかという点において、指導の基盤となる観察力、特に子供の内面把握への視点の育成、子供に優しく寄り添うためのコミュニケーション力の育成、そして優しく手を差し伸べる、あるいは抱きしめることで安心感と信頼感をもたらす教育者の心の育成を重視して外部関係者の特別講義や技能等の研修会の実践を多く取り込んだ。学生自らの体験に根ざした心の育成を考慮した。加えて、ICT活用と性被害を出さないことも含めた人権教育、実際に幼児とのふれあいを通しての幼児理解の一助となるように附属幼稚園との連携を深め、効果的な学生指導となるように教育内容と方法に工夫を行った。学生指導のあり方等を体系化した教育ツリーを作成し、ビジュアルでのわかりやすさを考慮し、そのまとめを行った。

5. 職業実践課程における教育課程編成会議の報告

(概要) 専門学校では、職業実践課程という制度があり、これは実学としての教育の質の向上策の一つに文部科学省と厚生労働省とが提起したものである。実学としての指導になるので、対人援助職関係者及び学識経験者を7名ほどお願いして、年に複数回、委員会を開催し、学校の教育活動や教育課程、指導上の問題点の協議や改善に向けての取り組みなどの意見交換や指導を仰いだものである。主に教育内容と方法とが議題となることが多く、実際の対人援助職や施設、専門家としての大学関係者からの貴重な意見等をもとにしてのここ10年分の教育活動の改善の変遷をまとめたものである。

【学会発表】

1. なし

主な社会活動

- ・識字学級における指導 (昭和51年8月)
- ・政令都市(福岡市)の高校における教育活動の指導 (平成10年6月)
- ・国大協に提起して大学入試開始時期が8月開始の実現 (平成19年6月)
- ・豊前市公平委員として市職員のトラブル解消に尽力 (平成25年6月)
- ・豊前市教育委員会教育委員として教育活動の活性化に尽力 (平成25年12月)
- ・吉富町外一中学校組合教育委員会にて活性化に尽力 (令和4年1月)

所属学会

一般財団法人 保育教諭養成課程研究会 (令和5年4月～現在に至る)

受賞歴

- 感謝状 全国高等学校家庭科振興会 (平成18年5月)
- 感謝状 全国高等学校長協会家庭部会 (平成18年5月)
- 感謝状 福岡県高等学校芸術文化連盟 (平成19年5月)
- 表彰 定時通信制教育60周年功労者文部科学大臣表彰 (平成19年5月)
- 表彰 福岡県教育委員会永年勤続30周年表彰 (平成16年6月)
- 表彰 全国市町村教育委員会連合会功労者表彰 (令和4年5月)

所 属	東筑紫短期大学 保育学科
担 当 科 目	〔保育学科〕 ・音楽基礎（ピアノ／理論・声楽） ・器楽基礎Ⅰ ・器楽基礎Ⅱ ・器楽応用 ・子どもの表現
専 門 分 野	■ 音楽（声楽）
最 終 学 歴	武蔵野音楽大学 大学院 音楽研究科 声楽専攻（修士課程）
学 位	修士（音楽） 学士（社会福祉学）
職 歴	<p>久留米信愛女学院短期大学幼児教育科 非常勤講師 （平成6(1994)年4月～平成10(1998)年3月）</p> <p>帝京大学福岡短期大学 非常勤講師 （平成9(1997)年4月～平成11(1999)年3月）</p> <p>九州大谷短期大学幼児教育学科 非常勤講師 （平成11(1999)年4月～平成13(2001)年7月）</p> <p>久留米市立金丸小学校特別非常勤講師 （平成12(2000)年1月～平成13(2001)年3月）</p> <p>久留米大学附設中学校非常勤講師 （平成13(2001)年4月～平成13(2001)年7月）</p> <p>株式会社トータル・ブライダル・ネットワーク（主任） （平成13(2001)年9月～平成15(2003)年1月）</p> <p>久留米市立宮ノ陣中学校 常勤講師 （平成15(2003)年4月～平成16(2004)年3月）</p> <p>クラーク記念国際高等学校 講師 （平成16(2004)年4月～平成17(2005)年3月）</p> <p>東筑紫短期大学保育学科 非常勤講師 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」担当 （平成16(2004)年4月～平成17(2005)年3月）</p> <p>東筑紫短期大学保育学科 講師 「音楽Ⅰ（ピアノ・理論）」「音楽Ⅱ（ピアノ）」 「音楽Ⅲ（わらべ歌と劇音楽）」担当 （平成17(2005)年4月～平成25(2013)年3月）</p> <p>東筑紫短期大学保育学科 講師 「音楽Ⅰ（ピアノ・理論）」「音楽Ⅱ（ピアノ）」「音楽Ⅲ」「音楽Ⅳ」 「音楽演習（ボディパーカッション）」担当 （平成26(2014)年4月～平成27(2015)年3月）</p> <p>東筑紫短期大学保育学科 准教授 「音楽Ⅰ（ピアノ・理論・声楽）」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」 「音楽Ⅳ」「キャリア教育演習Ⅰ・Ⅱ」担当 （平成28(2016)年4月～平成30(2018)年3月）</p> <p>東筑紫短期大学保育学科 准教授 「音楽Ⅰ（ピアノ・理論・声楽）」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」 「音楽Ⅳ」「キャリア教育演習Ⅰ（初年次教育含む）・Ⅱ」担当 （平成30(2018)年4月～現在に至る）</p> <p>出向で教務部企画広報課 指導主事兼任 （平成17(2005)年4月～令和4(2022)年3月） 教務部企画広報課長 （令和4(2022)年4月～現在に至る）</p>
教育上の業績	<p>○教員免許状更新講習 園児の表現力を高める音楽・リズム指導 （平成21(2009)年8月）</p> <p>○教員免許状更新講習 園児の表現力を高める音楽・リズム指導 （平成22(2010)年8月）</p> <p>○教員免許状更新講習 幼児の言葉を育てる指導法／絵本論、身体表現の構成・演出 （平成22(2010)年8月）</p> <p>○教員免許状更新講習 園児の表現力を高める音楽・リズム指導 （平成23(2011)年8月）</p> <p>○教員免許状更新講習 幼児の言葉を育てる指導法／絵本論、身体表現の構成・演出 （平成23(2011)年8月）</p> <p>○教員免許状更新講習 園児の表現力を高める音楽・リズム指導 （平成24(2012)年8月）</p> <p>○教員免許状更新講習 園児の表現力を高める音楽・リズム指導 （平成25(2013)年8月）</p>



	○教員免許状更新講習 園児の表現力を高める音楽・リズム指導 (平成26(2014)年8月)
	○教員免許状更新講習 園児の表現力を高める音楽・リズム指導 (平成27(2015)年8月)
	○教員免許状更新講習 音楽表現の指導法 (平成28(2016)年8月)
	○教員免許状更新講習 音楽表現の指導法 (平成29(2017)年8月)
	○教員免許状更新講習 音楽表現の指導法 (平成30(2018)年8月)
	○教員免許状更新講習 音楽表現の指導法 (令和元(2019)年8月)
主な研究活動	【演奏会】
	1. 演奏会 東町教会クリスマスコンサート (平成18(2006)年12月)
	2. 演奏会 名曲奏友会クラシックコンサート福岡大学オーケストラと共演 (平成20(2008)年1月)
	3. 演奏会 お寺でLIVE2008 春 オペラ・アリアと歌曲の夕べII (平成20(2008)年5月)
	4. 演奏会 馬田保育園ミニコンサート (平成22(2010)年2月)
	5. 演奏会 Pinocchio チャリティーコンサート (平成22(2010)年12月)
	6. 演奏会 読売交響楽団トップメンバー&シンフォニー合唱団 New Year Concert (平成23(2011)年5月)
	7. 演奏会 語りと音楽が織り成す民話の世界「久留米歌劇」 (平成23(2011)年8月)
	8. 演奏会 石橋文化センター つばきまつり カメリアコンサート (平成24(2012)年3月)
	9. 演奏会 北嶋ちひろ・北嶋季之 ソプラノ・テノールファーストコンサート (平成25(2013)年9月)
	10. 演奏会 石橋美術館利用促進事業ミュージアムコンサート ソプラノとテノールのウィンターコンサート (平成25(2013)年12月)
	11. 演奏会 北野女性の会 コンサート (平成26(2014)年12月)
	12. 演奏会 北嶋ちひろ・北嶋季之 ソプラノ・テノールセカンドコンサート (平成27(2015)年10月)
	13. 演奏会 こころのふるさと童謡をたずねて (平成28(2016)年4月)
	14. 演奏会 コールFLC 第23回 定期演奏会 日本の歌・日本の合唱 (平成28(2016)年9月)
	15. 演奏会 VIVA きたの2016 (平成28(2016)年11月)
	16. 演奏会 八女ベーゼンドルファー音楽祭2016「冬」クリスマスガラコンサート (平成28(2016)年12月)
	17. 演奏会 混声合唱団くるめ市民コール 第10回記念演奏会 久留米合唱のつどい (平成29(2017)年12月)
	18. 演奏会 FFG ホール合唱団サウス・エコー (平成30(2018)年5月)
	19. 演奏会 久留米シティプラザ グランドホール合唱団サウス・エコー (平成30(2018)年7月)
	20. 演奏会 北嶋ちひろ&季之 ソプラノ・テノール ～花鳥風月こころ～コンサート (令和元(2019)年9月)
	21. 演奏会 交声曲 海道東征 ソリストとして 九州交響楽団共演 柳川市民文化会館 白秋ホール (福岡) (令和4(2022)年12月)
	【論文】
	1. 「音楽と福祉からの一考察」 音(歌)とリズムを体でどのように感じるか? ⑦ 東筑紫短期大学 研究紀要 第42号 P139～156 単著 (平成23(2011)年12月) (概要) ボディパーカッション®を取り入れ3年。ボディパーカッションによる集中力・リズム感・コミュニケーション力の向上という効果が、視覚的・音楽的・リズム表現的に表れるようになって来た。回、現場指導者にボディパーカッション®の導入部分を指導し、指導者、子ども、学生がそれぞれどのように反応したかを含め、検証した。
	2. 「音楽と福祉からの一考察」 音(歌)とリズムを体でどのように感じるか? ⑧ 東筑紫短期大学 研究紀要 第43号 P141～P150 単著 (平成24(2012)年12月)



(概要)

ボディパーカッション®を取り入れて4回目である。体(身体)で表現することで、音とリズムの感じ方によどのような変化が起こるのか、またそれによってどのように感じられるか、を検証する。

3. 「音楽と福祉からの一考察」音(歌)とリズムを体でどのように感じるか? ⑨

東筑紫短期大学 研究紀要 第45号 P105~P116 単著 (平成26(2014)年12月)

(概要)

ボディパーカッション®について論ずるのは5回目である。節目の5回にあたるため、結果とそれによる効果、これからの継続について述べていく。授業の中で学生の反応と行動との関係がリズム感の修得へどのようにつながるか検証した。

4. 「音楽と福祉からの一考察」音(歌)とリズムを身体でどのように感じるか? ⑩

東筑紫短期大学 研究紀要 第48号 P193~P210 単著 (平成29(2017)年12月)

(概要)

ボディパーカッション®について論ずるのは6回目である。今回は、短時間ではあるが授業でボディパーカッション®を取り入れ、学生の興味関心を含めどのようにこのボディパーカッション®を感じたかを考察する。また、以前紀要に挙げてきた指導者への実践の中で、三年間データを取りどのような結果が出たかまとめた。さらにこのボディパーカッション®を音楽教育・保育現場の一つのアイテムとして取り入れ、活用できるように考察する。

5. 「音楽と福祉からの一考察」音(歌)とリズムを身体でどのように感じるか? ⑪

東筑紫短期大学 研究紀要 第49号 P65~P78 単著 (平成30(2018)年12月)

(概要)

ボディパーカッション®について論ずるのは7回目になる。今回も音楽理論の授業の一部でボディパーカッション®を取り入れ、学生が授業の中でボディパーカッション®のリズムを使い、どの様にすれば、少しでも確実にリズムを習得できるか、またどの様に感じたら通常のリズムの練習よりも楽しむ事ができるかを考察する。

6. 「音楽と福祉からの一考察」音(歌)とリズムを身体でどのように感じるか? ⑫

東筑紫短期大学 研究紀要 第50号 P133~P150 単著 (令和元(2019)年12月)

(概要)

ボディパーカッション®について考察するのは、今回で8回目になる。前回に引き続き、音楽の授業の中で一部ボディパーカッション®を取り入れ、今回も学生の反応を見ながら授業を行った。今回、「音痴」という「言葉」についても触れる。この言葉によって実際に子ども(人)が受ける影響は大きいと思われる。そして、学校での音楽教育の難しさについても少し関連するため、触れてみた。

7. 「音楽と福祉からの一考察」音楽における 感性と表現に関する領域「表現」 ⑬

東筑紫短期大学 研究紀要 第51号 P87~P96 単著 (令和2(2020)年12月)

(概要)

昨年まで9回のボディパーカッション®について考察を行ってきた。今回は、文部科学省で幼稚園教育指導要領、厚生労働省で保育所保育指針、また内閣府、文部科学省、厚生労働省では幼保連携型認定こども園要領が平成29(2017)年3月31日に公示され、本格的に教育課程の内容が新たに定められたことを受け、それぞれの中でできされている「表現」について考察する。

8. 「音楽と福祉からの一考察」音楽における 感性と表現に関する領域「表現」 ⑭

東筑紫短期大学 研究紀要 第52号 P45~P53 単著 (令和3(2021)年12月)

(概要)

今回、10回目のボディパーカッション®については、リズムをとることはあまり難しくない。しかし、オンライン上でのリズムの取り方は、非常に難しく感じる。オンライン上でのリズムをとる練習をさせ、データを集めた。また、昨年は、最後の更新講習で受講する人数が少なかったがその中でボディパーカッション®のデータを取り、一部結果を出すことが出来た。このことにより、受講者が何に不得意なものか少し見えてくるようになった。

**【学会論文】 単著**

1. 保育者・教育者養成校による音楽理論の基礎学習について

- 一部オンライン授業における学習効果の一考察について - 「(査読付)」

九州公私立大学音楽学会音楽研究第8号 P24~P37 単著 (令和3(2021)年3月)

(概要)

「音楽理論」の授業内で「ボディパーカッション活動」を取り入れ、「リズムの理解度」の調査を行い、併せてオンライン授業を一部取り入れた「音楽理論」の基礎知識の理解度および学習効果や課題について考察を行った。

【学会論文】 単著

2. リズム学習を取り入れた「音楽理論」の学習成果についての一考察

- オンライン授業に表現活動を取り入れた成果 - 「(査読付)」

九州公私立大学音楽学会音楽研究第9号 P1~P11 単著 (令和3(2021)年11月)

(概要)

「音楽理論」理解度の調査及び授業の習熟度の検証。また、リズム学習を取り入れたことによる「音楽理論の学習成果」を検証。オンライン授業と対面授業におけるリズムの理解を軸にピアノ演奏技術や音楽理論の習得のみならず学生が保育現場で音楽を通して豊かな表現活動ができるような効果の成果を研究し、一考察として行った。

【学会論文】 単著

3. 音楽理論の理解とリズム学習を重視した学習成果の一考察

- 「音楽基礎」の授業を通して - 「(査読付)」

九州公私立大学音楽学会 音楽研究 第10号 P11~P22 単著 (令和4(2022)年11月)

(概要)

保育現場で幼児と共に音楽に親しみ、様々な活動音楽表現活動を楽しむためには、基礎的な「音楽理論」の理解などが不可欠であると考え。その結果、音楽理論では、「拍子」の理解の必要性和「拍」を体で感じるように指導していく指導法が示唆された。ボディパーカッションを活用した授業では、保育者にとってどのような音楽表現力が求められるかを学生が考える一助になったのではないかと推察された。

【学会論文】 単著

4. 絵本を題材にした表現活動についての一考察

- グループ活動を通じた学習成果の課題 - 「(査読付)」

九州公私立大学音楽学会 音楽研究 第11号 P15~P27 単著 (令和6(2024)年3月)

(概要)

絵本『カニツンツン』を題材としてグループで創造活動を行い、その学習成果を検証して、表現活動やグループ活動の有効性を明らかにした。その結果、絵本を活用した表現活動を行った経験が役に立っていると感じた学生が8割である一方、約2割の学生は役に立っていないと感じている。また、音楽表現の楽しさやグループ内のコミュニケーションの大切さ、準備や練習時間の確保が重要だと感じている学生が約9割弱みられたことから、グループ活動を通じた表現力育成が明らかになった。

【学会論文】 共著

1. 教育者・保育者におけるピアノ学習の実態に基づく課題

- 準備学習とピアノ演奏技術の習得を通して - 「(査読付)」

九州公私立大学音楽学会音楽研究第8号 P1~P11 共著 (令和3(2021)年3月)

(概要)

質の高い学士課程教育を行うには、学生が授業のための事前準備、授業の受講、事後の展開を通じた主体的な学びに要する総学修時間の確保が必要である。本稿では入学までのピアノ学習開始時期や家庭での準備学習時間等の実態を調査し、成績評価との相関関係の検証を行うことにより、ピアノ学習の課題について考察を行った。(津山美紀/北嶋季之)

主な社会活動

○演奏会 八女バーゼンドルファー音楽祭 2016「冬」クリスマスガラコンサート

熊本県益城町〈文化会館〉支援コンサート

(平成28(2016)年12月)



	○審査員 第2回 シュテルン・ムジーク コンペティション (平成28(2016)年8月)
	○審査員 第3回 シュテルン・ムジーク コンペティション (平成29(2017)年8月)
	○審査員 佐賀県高等学校音楽コンクール (声楽) (平成30(2018)年8月)
	○審査員 第4回 シュテルン・ムジーク コンペティション (平成30(2018)年12月)
	○審査員 佐賀県高等学校音楽コンクール (声楽) (令和元(2019)年8月)
	○審査員 第9回リベラコンクール (大分・狭間町) (令和3(2022)年5月)
	○演奏会 交声曲 海道東征 ソリスト九州交響楽団共演 (令和3(2022)年12月) 柳川市民文化会館 白秋ホール (福岡)
	○審査員 第10回リベラコンクール 予選 (大分・狭間町) (令和5(2023)年5月)
	○審査員 第10回リベラコンクール 本選 (大分・大分市) (令和5(2023)年8月) ・ボディパーカッション教育振興会 (事務局)
所属学会	久留米連合文化会 (平成7(1995)年5月) 九州公私立大学音楽学会 (平成23(2011)年4月) 保育教諭養成課程研究会 (平成29(2017)年9月)
受賞歴	日本演奏連盟新人演奏会受賞 (平成10(1998)年1月) 第17回飯塚新人音楽コンクール入選 (平成10(1998)年6月) 久留米連合文化会賞受賞 (平成11(1999)年5月) 久留米市芸術奨励賞受賞 (平成29(2017)年11月)

所属	東筑紫短期大学 保育学科	
担当科目	[保育学科] 保育指導論 [保育学科] 保育実習 I/II (保育所) [保育学科] 保育実習指導 I / 保育実習指導 II [保育学科] 保育・教職実践演習 (幼稚園) [保育学科] キャリア教育演習 II	
専門分野	保育学、安全と危機管理学	
最終学歴	東筑紫短期大学保育科 卒業	
学位	准学士	
職歴	○東筑紫短期大学附属幼稚園 教諭 (昭和 57(1982)年 4 月～平成 4(1992)年 3 月) ○北九州市福祉事業団 うさぎ保育所 保育士 (平成 10(1998)年 11 月～平成 11(1999)年 3 月) ○北九州市福祉事業団 うさぎ保育所 保育士 (平成 16(2004)年 4 月～平成 19(2007)年 6 月) ○北九州市福祉事業団 うさぎ保育所 常勤保育士 (平成 19(2007)年 7 月～平成 20(2008)年 3 月) ○東筑紫短期大学附属幼稚園 教諭 (平成 20(2008)年 6 月～平成 27(2015)年 3 月) 同 主幹教諭 (主任) (平成 27(2015)年 4 月～令和 4(2022)年 3 月) 同 副園長 (保育園部) (平成 31(2019)年 4 月～令和 4(2022)年 3 月) 東筑紫短期大学 保育学科 准教授 (令和 4(2022)4 月～現在に至る)	
教育上の業績	○教育方法の実践例 1. 東筑紫短期大学保育学科「表現 (指導法)」特別講師 (平成 25(2013)年 10 月) (概要) 担任する 5 歳児クラスの生活発表会「創作劇」の取り組みにおいて子どもの姿からテーマを決め、子ども達が主体的にお話作りや役決め、小道具作り等を行い、表現するまでの過程や発表後の成長を保育学科学生へ講義した。 2. 東筑紫短期大学保育学科「キャリア教育」特別講師 (令和元(2019)年 6 月) 「幼稚園(こども園)とは」～お弁当交流会も含めて～ (概要) 附属幼稚園のカリキュラム (教育要領・建学の精神) や一日の保育の流れ、園をとりまく環境や食育、保育の仕事の魅力について講義した。お弁当交流会 (保育学科生と園児参加) で学生に必要な視点や園児との関わり方を伝えた。 3. 東筑紫短期大学保育学科「保育・教職実践演習 (幼稚園)」科目担当(兼任講師) (令和 2(2020)年後期) (概要) 学生による自己評価シートの結果を基に、個人テーマを設定し、共通のテーマごとにアクティブラーニングによる研究活動を実践した。研究活動において、保育現場特有の視点で助言や質疑応答に対応するなど幼稚園教諭養成課程学生への指導を行った。 4. 東筑紫短期大学保育学科「環境 (指導法)」特別講師 「身近な生き物や植物に親しみをもってかかわる」 (令和 2(2020)年 10 月) (概要) 附属幼稚園の園庭で畑や植物を観察後、コオロギの生態を学び、身近な自然物 (どんぐり・落ち葉・サツマイモの水栽培 他) を用いた遊びや園児の作品を紹介し、保育者としての視点や自然と関わることの重要性について講義した。 5. 東筑紫短期大学保育学科「保育・教職実践演習 (幼稚園)」科目担当(兼任講師) (令和 3(2021)年後期) (概要) アクティブラーニングによる研究活動のテーマ決定・研究計画書・研究方法等学生ごとに対応し、保育現場特有の視点で助言や質疑応答に対応する等幼稚園教諭養成課程学生への指導を行った。 6. 東筑紫短期大学保育学科「環境 (指導法)」特別講師	



「身近な生き物や自然との関わり①」(令和3(2021)年9月・10月)

(概要)

附属幼稚園における野菜の種まき・土づくりの方法や野菜に応じた種のまき方を講義した。プランター栽培・園庭の畑・大学キャンパス内の畑の畝づくり等を各クラスで取り組むとともに、附属幼稚園園児とともに種まきを行った。

7. 東筑紫短期大学保育学科「環境(指導法)」特別講師

「身近な生き物や自然との関わり②」(令和3(2021)年10月)

(概要)

附属幼稚園にいる生き物や植物に触れ、観察を通じてその特徴等を学び(カメ・コオロギ・カブトムシの幼虫・お米の糲摺り等)自然物を使った遊びへの展開事例や絵本等を提示し、保育者としての資質向上を促す講義を行った。

8. 附属幼稚園における短期大学保育学科生の実習受入れ、指導等

(昭和57(1982)年～平成4(1992)年3月/平成20(2008)年6月～令和4(2022)年3月)

(概要)

東筑紫短期大学の附属幼稚園であることから、毎年5月は保育学科2年生の部分実習(約1週間)。10月は集中実習(約2週間)、後期後半には1年生の観察実習を受け入れ、指導してきた。オリエンテーション・指導計画(部分指導案・全日指導案)・反省会・幼児理解等、1日の流れに応じた動き、実習記録、実習全体の実務について長年指導をおこなってきた。附属幼稚園の役職者となつてからは、受け入れ学生だけでなく実習のクラス担任への助言も行ってきた。また、保育学科とも日々情報を共有し効果的な実習指導の構築に努めた。

主な研究活動

[論文(研究紀要等)]

1. 「保育職の研究(その11)―保育学科生に保育現場の実態と魅力を示す授業方法の考察―」(共著)

木本節子、小島久須美、富田智恵、吉田千津子(平成24(2012)年12月)

(東筑紫短期大学研究紀要第43号)

(概要)

大学保育学科の特色ある教育課程の展開を企図し、附属幼稚園と連動したカリキュラムの構築を論じた。附属幼稚園のクラス担任としての立場から保育学科学生へ各種行事の保育の実践を行い、各行事の指導計画等の資料の提供と担任からのメッセージを寄稿した。

2. 「アクティブラーニングによる「保育・教職実践演習」の取組(5)」(共著)

寺本普見子、前川公一、都留守、井上まゆみ、富田智恵、吉田千津子(令和3(2021)年12月)

(東筑紫短期大学研究紀要第52号)

(概要)

令和2(2020)年度後期に開講された「保育・教職実践演習(幼稚園)」の授業方法、とりわけ本授業の主たる目的であるアクティブラーニングによる課題の発見、自己評価、研究テーマの設定に向けたよりよい教授方法の検討について論じた。

3. 「幼稚園等施設における安全管理(1)園児の園バス送迎マニュアルについて」(単著)

吉田千津子(令和3(2021)年12月)

(東筑紫短期大学研究紀要第52号)

感染症の拡大や園バスにおける幼児の死亡事故等が多発している状況を受け、附属幼稚園の園バスの安全マニュアルについて論じるとともに実際の園バス運行の留意点等を検証し、感染症対策と安全対策の重要性や具体策について考察した。

4. 「幼稚園施設における安全管理(2)園児の園バス送迎置き去り防止策について」(単著)

吉田千津子(令和4(2022)年12月)

(東筑紫短期大学研究紀要第53号)

保育者育成の観点から、いわゆる園バス安全指導を例に保育者の資質・指導力向上や子どもと保育者、保護者との関わりを考察。具体的には、園バスでの視診、人員把握、保護者を含めた連絡体制などについて、保育現場経験者と養成校の教員としての両方の視点から、保育者としての安全意識やコミュニケーションの重要性について論じた。



5. 「保育実習における実習記録に関する一考察 保育ドキュメンテーション形式の実習記録について」
(単著)

吉田千津子 (令和 5(2023)年 12 月)

(東筑紫短期大学研究紀要第 54 号)

コロナ下を経た現在、子どもたちをまんやかに実習生・養成校・保育現場である実習園が共に 保育の資質を高め、学びを深めていこうとする流れが見えてきている。保育実習において重要な役割を担っている実習記録に焦点を当てて従来の時系列の実習記録形式だけでなく、実習の目的やねらいに応じた形式(ドキュメンテーション形式等)を考察した。

主な社会活動

1. 『交通安全母の会 (八幡)』 会員 (平成 14(2002)年 4 月～ (平成 20(2008)年 5 月)

(概要)

交通安全啓発活動・小学校 3 校安全教室 (人形実演付き) 共催・折尾警察署長訪問・通学路安全確保対策の活動を特に前半 3 年間活発に行ってきた。

2. 『読み聞かせボランティア ともだちや』 設立 (平成 14(2002)年 11 月～ (平成 20(2008)年 5 月)

(概要)

北九市立池田小学校にて週 1 回から 2 回朝自習時間と月 1 回程度昼休みに読み聞かせ (1 年生～6 年生対象) の実演を行って来た。毎年、春と秋の読書週間においてブックトーク・人形劇・掛け絵話等を実施した。また、近隣の幼稚園でも読み聞かせ実演会を行った。

3. 『このぼり交流会』 地域交流担当 (平成 22 (2010 年 4 月～令和 3(2021)年 4 月)

(概要)

東筑紫短期大学附属幼稚園の園児 (年長組) が製作した大きなこのぼりを到津自治区の方々と一緒に板櫃川にこのぼりを揚げ、「このぼり交流会」を行っている。この取り組みを通して地域交流を深めていった。

4. 『保幼小連携事業担当』 (平成 22 (2010 年 4 月～令和 3(2021)年 4 月)

(概要)

北九州市立到津小学校と年長児との交流を深め、保幼小連携研修会等に参加しゆるやかな接続に取り組んできた。

5. 『新採幼稚園教諭研修』 北九市立教育センター主催 公開保育 (平成 25(2013)年 10 月)

(概要)

北九州市幼稚園・私立幼稚園 (参加希望園) の新規採用幼稚園教諭研修 (東筑紫短期大学附属幼稚園にて) を担任していた 5 歳児のクラスにおいて子どもが主体となって企画・司会・準備・活動等取り組んだ「ちくしおにぎりがしま収穫感謝祭誕生会」の公開保育を行った。

6. 『北九州市立教育センター木曜ミニ教室』 講師 (平成 27(2015)年 6 月)

(概要)

基本のリズムや野菜、魚等の食育をテーマに指遊びや表現を行った。(講座の前半を担当)

7. 『剣舞会津白虎隊』 担当 慰問 (平成 28(2016)年 2 月～平成 31 年(2019)年 2 月)

(概要)

到津市民センターのふれあい昼食会で担当している剣舞会津白虎隊を園児と披露し、シニアの方々とふれあいを深めていった。

8. 『体験型子育て支援事業』 担当 (平成 29(2017)年 4 月～令和 4(2022 年 9 月)

(概要)

認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園の園児たちと未就園児たちが一緒に遊ぶ時間を設定し、『体験型子育て支援事業』～みんななかよし このゆびと～まれ!～を担当し、募集、計画、準備、アンケート、保護者からの子育ての相談等全般にわたって携わった。毎年 12 月には“親子による製作活動”の講師を務めた。

9. 『九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学・認定こども園東筑紫短期大学付属幼稚園 共催
子育て支援事業～子育て親育ちの会』 担当 (平成 29(2017)年 4 月～令和 4(2022)年 3 月)

(概要)

九州栄養福祉大学、東筑紫短期大学の各学科の先生方が講師となって認定こども園東筑紫短期大学の園児や未就園児を対象に親子で活動する子育て事業「子育て・親育ちの会」を担当した。



10. 『九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学・認定こども園東筑紫短期大学付属幼稚園 共催
子育て支援事業～「子育て親育ちの会」東筑紫短期大学側の担当となる』令和4（2022）年4月～
現在に至る

（概要）

九州栄養福祉大学、東筑紫短期大学の各学科の先生方が講師となって認定こども園東筑紫短期大学の園児や未就園児を対象に親子で活動する子育て事業「子育て・親育ちの会」では東筑紫短期大学側の担当となった。1月に行った「親子で遊ぼう！」～いろいろな素材を使って雪だるま作りの講師を務めた。

令和5年度においては、ワークショップ「親子でつくって遊ぼう！」（全3回）の講師を務め、高評価を得た。

11. 子育て支援事業担当となる

令和4年（2022）～現在に至る

（概要）

（到津市民センターでの地域貢献を含む活動と保育学科生による子育て支援ボランティア）担当となる。到津市民センターで子育てネットワーク会議に出席して子育て支援に対しての情報交換を行っている

- 12 東筑紫短期大学保育学科子育て支援事業担当
学生によるボランティア実施

令和4年（2022）～現在に至る

（令和5（2023）年3月・令和6（2024）年3月

（概要）

地域の市民センターに案内のポスターにて周知を行い、学生ボランティアによる「大型絵本の読み聞かせ」・紙芝居・パネルシアター等の指導も行うと共に保護者の方の子育て相談に応じている対象：1歳児～5歳児と保護者

所属学会

日本保育学会

令和4年（2022）～現在に至る

受賞歴

北九州市幼稚園連盟 勤続表彰（22年）

令和3（2021）年7月



所 属	東筑紫短期大学 保育学科	
担 当 科 目	〔保育学科〕	
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの表現 ・音楽基礎 ・器楽基礎Ⅰ ・器楽基礎Ⅱ ・器楽応用 ・キャリア教育演習Ⅱ 	
専 門 分 野	■ 音楽 (ピアノ)	
最 終 学 歴	MM in Piano, Mannes School of Music (マネス音楽院大学院修士課程)	
学 位	修士 (音楽) 学士 (音楽)	
職 歴	<ul style="list-style-type: none"> ぎじゅつやさんのピアノ店音楽教室講師 (平成 17(2005)年 7 月～平成 30(2018)年 3 月) マメット音楽教室 ピアノ講師 (平成 26(2014)年 4 月～平成 30(2018)年 3 月) ○東筑紫短期大学保育学科非常勤講師 (平成 27(2015)年 4 月～平成 30(2018)年 3 月) ○東筑紫短期大学保育学科講師 (平成 30(2018)年 4 月～令和 4(2022)年 3 月) ○東筑紫短期大学保育学科准教授 (令和 4(2022)年 4 月～現在に至る) 	
教育上の業績	<ul style="list-style-type: none"> ○東筑紫短期大学 保育学科 非常勤講師 (平成 27(2015)年 4 月～平成 30(2018)年 3 月) 平成 27 年度前期担当科目 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅲ」 平成 27 年度後期担当科目 「音楽Ⅱ」「音楽Ⅳ」 平成 28 年度前期担当科目 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅲ」 平成 28 年度後期担当科目 「音楽Ⅱ」「音楽Ⅳ」 平成 29 年度前期担当科目 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅲ」 平成 29 年度後期担当科目 「音楽Ⅱ」「音楽Ⅳ」 	
主な研究活動	<p>〔論文〕</p> <p>1. 「保育者養成校における学生のピアノ指導についての一考察—実践的楽曲分析を基に(1)—」 (東筑紫短期大学研究紀要第 49 号 pp.133-144) 単著 (概要) 本学学生がピアノに対してどのような意識を持っているかを探り、問題点を追及した。 また、楽曲分析によるバイエルの有効な活用法、演奏に際しての基礎的な技術の指導法を考察した。</p> <p>2. 「保育者養成校における学生のピアノ指導についての一考察—実践的楽曲分析を基に(2)—」 (東筑紫短期大学研究紀要第 50 号 pp.173-183) 単著 (概要) 東筑紫短期大学研究紀要第 49 号に引き続き、本学学生のピアノ技術習得のための有効な方法を模索した。特に左手の和声進行についてバイエルとマーチを用いて分析し、和音移動をスムーズに行うための指導法を考察した。</p> <p>3. 「幼児への音楽アウトリーチの実践と考察」 (東筑紫短期大学研究紀要第 51 号 pp.97-107) 単著 (概要) 北九州市内および直方市内におけるアウトリーチコンサートの活動について検証した。 音楽アウトリーチの可能性を模索するとともに子どもたちの感性を豊かにする音楽の実践について考察した。</p> <p>4. 「教育者・保育者養成におけるピアノ学習の実態に基づく課題Ⅱ—ピアノ演奏技術の習得およびピアノ練習に対する意識の変化—」 (九州公私立大学音楽学会音楽研究第 9 号 (査読付き) pp.12-23) 共著 (概要) 保育者養成校におけるピアノの授業の目的は、子どもたちが自由に自己表現するために、保育現場ですぐに実践できる表現力やピアノ演奏技術の習得を目指すことである。本稿では一年を</p>	



通じた学生のピアノ演奏技術やピアノ練習に対する意識の変化を調査し、指導者の立場から学習支援の課題について検証を行った。(笹部聡子/津山美紀)

5. ピアノ学習支援の課題についての一考察—ピアノ学習の実態調査から—

(東筑紫短期大学研究紀要第 52 号 pp.29-43) 共著

(概要)

本学の学生におけるピアノ学習の主体的な学びに着目して、練習量や苦手な箇所の克服、音楽表現に対する意欲や今後の課題についての実態調査を行った。その結果をもとに、ピアノ学習の実態を明らかにし、今後の保育者養成校におけるピアノの授業のあり方や指導法について考察した。(津山美紀/北嶋季之/笹部聡子)

6. 領域「表現」における音楽アウトリーチ活動の可能性に関する一考察

(東筑紫短期大学研究紀要第 52 号 pp.73-83) 単著

(概要)

東筑紫短期大学研究紀要第 51 号における考察を受け、本稿では将来の保育者である本学学生を対象としたアウトリーチ型のコンサートの実施について検証を行った。アウトリーチコンサートとして実施するアクティビティについてだけでなく、日々の保育現場を司る保育者の観点から、「音楽表現」について考察を行った。

7. 幼児への音楽アウトリーチの実践と考察 II—保幼小連携を見据えた取り組み—

(東筑紫短期大学研究紀要第 53 号 pp.69-77) 単著

(概要)

東筑紫短期大学研究紀要第 51、52 号における考察を踏まえ、実際に小学校でのアウトリーチを実施するにあたって内容を精査するとともに、保幼小連携を見据えたプログラム作りについて検証を行った。

8. 音楽表現力育成のための一考察—グループ活動を通じた学習成果の課題—

(東筑紫短期大学研究紀要第 53 号 pp.1-10) 共著

(概要)

保育者養成校において音楽表現力の育成をするために、グループで音楽劇の制作と発表を行い、その学習成果を検証しグループ活動の有効性を明らかにした。また、発表会終了後に、領域「表現」の目標と狙いが達成できたかを自己評価し、グループ活動を通じた音楽表現力育成の課題を明らかにした。(津山美紀/北嶋季之/笹部聡子)

9. 保育者養成における領域「表現」の指導法に関する一考察—アクティブラーニングを取り入れた劇あそび制作を通して—

(九州公私立大学音楽学会音楽研究第 11 号 (査読付き) pp.43-53) 単著

(概要)

本学における領域「表現」の科目において、実際に学生が劇あそびを完成させ発表会を行い、そのまとめとして振り返りを行った。本稿では、劇あそびの制作過程から発表会、振り返りまでの実態を調査し、保育者としての視点に立ってそれぞれを検証することにより、保育内容「表現」の指導法に関する課題について考察した。

【研究ノート】

1. 保育者を目指す学生の読譜力向上に関する研究

(九州公私立大学音楽学会音楽研究第 10 号 pp.43-49) 単著

(概要)

本学の学生のピアノ学習における「読譜力の向上」に着目して、読譜力についての実態調査を行った。その結果、総合的な読譜力は半期間のトレーニングである一定程度身につくことが認められた。また、地道な努力を継続することで読譜力が向上していき、ピアノ学習を行う際に読譜に関するトレーニングが有効であることが明らかになった。



〔(公財)北九州市芸術文化振興財団音楽アウトリーチ事業登録アーティスト〕

登録アーティストオーディション合格後、コーディネーターによる2年間の研修を受ける。

小学校での音楽教育は20～100名程度の児童(特定された学年のみ)を対象とし、音楽室において演奏をより近い場所で聴いてもらうことにより、息遣いや音の響き、空気の振動を感じることを指導している。曲目をより深く理解させるため、作曲された背景、作曲者の人間性、楽曲分析など、児童にわかるように話しながら、1時間のプログラムを進めている。この事により児童たちのクラシック音楽への興味・関心を持たせることができた。

会場:北九州市立光貞小学校	対象:小学2年生 70名	(平成18(2006)年11月)
会場:北九州市立若松中央小学校	対象:小学6年生 59名	(平成19(2007)年1月)
会場:北九州市立平野市民センター	対象:地域住民 70名	(平成19(2007)年2月)
会場:北九州市立柄杓田小学校	対象:全児童 27名	(平成19(2007)年6月)
会場:北九州市立光貞市民センター	対象:地域住民 106名	(平成19(2007)年6月)
会場:北九州市立長行小学校	対象:小学4年生 43名	(平成19(2007)年10月)
会場:北九州市立大里東小学校	対象:小学3年生 92名	(平成20(2008)年1月)
会場:北九州市立松ヶ江小学校	対象:小学5年生 18名	(平成20(2008)年12月)
会場:北九州市立ひびきが丘小学校	対象:小学3,4年生 96名	(平成24(2012)年6月)
会場:北九州市立曽根東小学校	対象:小学4年生 66名	(平成25(2013)年1月)
会場:北九州市立本城小学校	対象:小学6年生 118名	(平成25(2013)年6月)
会場:北九州市立青山小学校	対象:小学4年生 65名	(平成25(2013)年9月)
会場:北九州市立柄杓田小学校	対象:全児童 41名	(平成25(2013)年11月)
会場:北九州市立花房小学校	対象:小学4年生 49名	(平成26(2014)年5月)
会場:北九州市立企救丘小学校	対象:小学3年生 65名 小学3年生 69名	(平成26(2014)年11月)
(2公演実施)		
会場:北九州市立到津小学校	対象:小学4年生 44名	(平成27(2015)年6月)
会場:北九州市立星ヶ丘小学校	対象:小学4年生 102名	(平成27(2015)年6月)
会場:北九州市立筒井小学校	対象:小学4年生 33名	(平成27(2015)年6月)
会場:北九州市立八枝小学校	対象:小学3年生 96名	(平成27(2015)年9月)

〔(公財)直方文化青少年協会おでかけクラシック事業アーティスト〕

北九州でのアウトリーチ研修を活かし、年間を通じて直方市内の幼稚園及び小学校でのコンサートを行っている。

特に幼稚園でのコンサートでは、拍子感の習得のため手拍子でリズム打ちをしながらピアノ演奏を聴くスタイルを取り入れている。園児たちが自分自身で音楽的な表現活動をすることでクラシック音楽への興味・関心をもたせ、園児の感性を磨くことを目標にしクラシック音楽を推進することを目的としている。

会場:直方市立直方西小学	校対象:小学4年生 23名	(平成24(2012)年11月)
会場:直方市立直方北小学	校対象:小学5年生 39名	(平成24(2012)年11月)
会場:頓野幼稚園	対象:全園児 83名	(平成25(2013)年10月)
会場:大和幼稚園	対象:全園児 192名	(平成25(2013)年10月)
会場:直方市立直方西小学校	対象:小学4年生 29名	(平成25(2013)年9月)
会場:直方市立植木小学校	対象:小学4年生 33名	(平成25(2013)年10月)
会場:直方市立感田小学校	対象:小学5年生 99名	(平成25(2013)年10月)
会場:直方市立直方北小学校	対象:小学4年生 32名	(平成25(2013)年10月)
会場:直方市立下境小学校	対象:小学5年生 46名	(平成25(2013)年10月)
会場:頓野幼稚園	対象:全園児 101名	(平成26(2014)年9月)
会場:直方市立直方南小学校	対象:小学5,6年生 41名	(平成26(2014)年10月)
会場:直方市立直方北小学校	対象:小学5年生 47名 対象:小学4年生 55名	(平成27(2015)年12月)
(2公演実施)		
会場:直方市立直方南小学校	対象:小学5,6年生 38名	(平成27(2015)年12月)
会場:直方市立中泉小学校	対象:小学5,6年生 29名	(平成27(2015)年12月)
会場:大和幼稚園	対象:全児童 142名	(平成28(2016)年9月)
会場:直方市立下境小学校	対象:小学1年生 41名	(平成28(2016)年9月)



会場:直方市立上頓野小学校	対象:小学4年生 62名	(平成28(2016)年9月)
会場:直方市立直方北小学校	対象:小学4年生 54名	(平成28(2016)年9月)
会場:直方市立直方南小学校	対象:小学5,6年生 25名	(平成28(2016)年12月)
会場:頓野幼稚園	対象:全児童 95名	(平成29(2017)年12月)
会場:直方市立上頓野小学校	対象:小学4年生 60名	(平成29(2017)年9月)
会場:直方市立中泉小学校	対象:全児童 107名	(平成29(2017)年10月)
会場:直方市立新入小学校	対象:小学3年生 57名	(平成29(2017)年11月)
会場:直方市立直方東小学校	対象:小学3年生 60名	(令和元(2019)年10月)
会場:直方市立直方北小学校	対象:小学3年生 66名	(令和元(2019)年10月)
会場:大和幼稚園	対象:年中・年長 101名	(令和元(2019)年11月)
会場:頓野幼稚園	対象:全園児 108名	(令和元(2019)年11月)
会場:直方市立直方西小学校	対象:小学3,4年生 48名	(令和2(2020)年10月)
会場:直方市立中泉小学校	対象:小学1,2年生 36名	(令和2(2020)年10月)
会場:頓野幼稚園	対象:全園児 109名	(令和2(2020)年10月)
会場:直方市立直方北小学校	対象:小学3年生 69名	(令和2(2020)年11月)
会場:直方市立感田小学校	対象:小学1年生 104名	(令和2(2020)年11月)
会場:直方市立直方東小学校	対象:小学2年生 50名	(令和2(2020)年11月)
会場:直方市立新入小学校	対象:小学4年生 59名	(令和3(2021)年1月)
会場:頓野幼稚園	対象:年中・年長 67名	(令和4(2022)年1月)

【演奏会等】

- やすらぎの森10周年記念コンサート 会場:西野病院1階ロビー (平成25(2013)年10月)
- やさしいピアノコンサート 会場:ユメニティのおがた小ホール (平成25(2013)年10月)
- 能楽と洋楽をあなたに 会場:響ホール (平成27(2015)年2月)
- 学校法人百華学園精華幼稚園 創立60周年記念式典
会場:若松区極楽寺 (平成27(2015)年2月)
- ホールのひみつ 会場:ユメニティのおがた大ホール (平成27(2015)年7月)
- チャリティーコンサート 会場:リーガロイヤルホテル小倉リーガトップ (平成28(2016)年9月)
- 笹部聡子ピアノコンサート～ピアノ&フルート・ボディパーカッション～
会場:ウエル戸畑中ホール (平成30(2018)年5月)
- 絵本ひろばピアノコンサート 会場:ユメニティのおがた小ホール (平成30(2018)年9月)
- 北九州日独協会クリスマスピアノコンサート
会場:西日本工業倶楽部 (平成30(2018)年12月)
- それはモーツァルトだった～音楽×演劇×ダンス～
会場:ウエルとばた大ホール (令和3(2021)年1月)
- 大音楽祭～音楽劇・みらいちゃんと3人の愉快なお友達 in ウィーン～
会場:ウエルとばた大ホール (令和4(2022)年7月)
- OPERA na 愛の姿 会場:響ホール (令和4(2022)年11月)
- 令和4年度文化祭「日本舞踊の会」ピアノと日本舞踊
会場:若松市民会館大ホール (令和4(2022)年11月)
- ウクライナ避難民支援「チャリティーコンサート in 北九州」
会場:北九州芸術劇場大ホール (令和5(2023)年1月)
- 音楽劇 みらいちゃんと3人のゆかいなお友達 2023
会場:黒崎ひびしんホール大ホール (令和5(2023)年8月)
- 第72回若松区文化祭「若松区民音楽会」特別出演
会場:若松市民会館大ホール (令和5(2023)年10月)
- OPERA na 愛の姿 会場:ウエル戸畑中ホール (令和6(2024)年2月)

主な社会活動

- ・九州山口ジュニアピアノコンクール審査員 (平成20(2008)年～現在に至る)
 - ・音の夢ピアノコンクール審査員 (平成22(2010)年～現在に至る)
 - ・北九州市立年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ講師 (令和元(2019)年9月)
- 「楽しいピアノコンサート～日常から少し離れて、一緒に音楽を愉しみましょう～」



	<p>・としょかんこどもまつり (学生引率助言) (令和元(2019)年 10 月) 直方市立図書館で開催された「としょかんこどもまつり」に学生が参加し、手袋人形やエプロンシアター、ペープサートなどを行った。その際、学生の援助指導を行った。学外で様々な子どもたちや保護者と関わることで、実践力を身に着けることを目的とした。</p>
	<p>・北九州市立年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ講師 (令和 4(2022)年 10 月) 「リズム・リズム・リズム♪～手作り楽器で音楽を楽しみましょう～」</p>
	<p>・九響・春の子どもコンサート (学生引率助言) (令和 5(2023)年 3 月) アクロス福岡シンフォニーホールで行われた「九響・春の子どもコンサート～オーケストラってすごいぞ! 2023～」において、本学保育学科生がボディパーカッションで九州交響楽団と共演した。その際、学生の援助指導を行った。学外で様々な子どもたちや保護者、ステージに携わるスタッフ・関係者と関わることで、保育者としての実践力を身に付けることを目的とした。</p>
	<p>・「子育て・親育ちの会」講師 (令和 6(2024)年) 2 月 北区キャンパスにて行われた九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学・認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園共催による「子育て・親育ちの会」において「親子で音をたのしもう!」を開催した。満 3 歳児から 8 歳までの子どもとその保護者を対象に、音が聞こえる仕組みについて実際のピアノを用いて実験を交えながら説明をし、演奏を行った。</p>
	<p>・北九州音楽協会会員 (平成 12 (2000) 年～現在に至る)</p>
所 属 学 会	九州公私立大学音楽学会 (令和 3(2021)年～現在に至る)
受 賞 歴	<p>全日本学生音楽コンクール高等学校の部福岡大会第 1 位受賞 (平成 6(1994)年 10 月) ニューヨーク国際音楽祭コンクール第 1 位受賞 (平成 12(2000)年 7 月) 西日本出身新人紹介演奏会最優秀賞受賞 (平成 12(2000)年 10 月) マリアン・マーカス・ウォール賞受賞 (マネス音楽院大学院修了時) (平成 15(2003)年 5 月)</p>

所 属	東筑紫短期大学 保育学科
担 当 科 目	<p>[保育学科]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育原理 ・教職概論 ・教育課程・保育計画と評価 ・保育制度論 ・保育・教職実践演習（幼稚園）
専 門 分 野	<p>幼児教育と初等教育（総合的な学習の時間・特別活動）</p> <p>保育・教育職と保育・教育制度</p>
最 終 学 歴	福岡教育大学 教育学部小学校教員養成課程 社会科（地理学）専修
学 位	学士（教育学）
職 歴	<p>北九州市立小学校 教諭 (1984年4月～1999年3月)</p> <p>北九州市教育委員会指導部・学校教育部指導第一課 指導主事（総合的な学習の時間担当） (1999年4月～2004年3月)</p> <p>北九州市立小学校 教頭 (2004年4月～2007年3月)</p> <p>北九州市立教育センター 指導主事（総合的な学習の時間・初任者研修等担当） (2007年4月～2009年3月)</p> <p>北九州市立小学校 教頭 (2009年4月～2010年3月)</p> <p>北九州市立小学校 校長 (2010年4月～2021年3月)</p> <p>東筑紫短期大学保育学科 准教授 (2022年4月～現在に至る)</p>
教育上の業績	<p>○北九州市立小学校 校長（11年間）</p> <p>（概要）</p> <p>北九州市立到津小学校・松ヶ江北小学校等で計 11 年間校長を務め、それぞれの学校で以下のような事項に重点を置き学校経営に当たった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育目標の具現化、合言葉化、短期目標化 ・特別支援学級、通常学級における特別支援教育の充実 ・児童理解や心理学等を踏まえた教育・啓発活動、教育相談 ・児童及び保護者に寄り添った不登校対応、就学相談 ・PTA 活動や地域活動との強力な連携 など
主な研究活動	<p>[論文、研究大会・講演会・研修会資料 等]</p> <p>1. 第 23 回福岡県小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会研究大会北九州市大会要項 浦田一幸 他（2016年11月） (共著) 共著者：北九州市立松ヶ江北小学校教員 8 名及び福岡県教員実践提案者 3 名の計 9 名</p> <p>（概要）</p> <p>研究主題「共に学び、考え、未来をつくる子どもの育成～子どもが本気で取り組む生活科・総合的な学習の時間の在り方を探る～」を企画し、探究的で協同的な深い学びの実現等についての実践的提案を行った。</p> <p>具体的には、教育基本法の理念や中央教育審議会答申を踏まえ、「子ども主体の学習（授業）への質的転換」・「子どもが自ら学ぶ授業づくりに向けた教師の意識改革」・「子どもの自然な意識の流れに沿った学習展開」・「体験的な活動及び問題解決的な学習活動」・「気付きや学びの質を高める工夫」・「将来に生きて働く力の育成」などに焦点を当てながら、全 6 学年において、研究主題に迫る新たな授業づくりを提案した。</p> <p>特に、幼児教育と関連深い実践としては、1 年生活科『あき いっぱい フェスティバル』であそぼう』を企画し、幼小連携の在り方についての提言も行うなどした。</p> <p>（執筆担当部分：巻頭あいさつ・研究主題構想・研究大会のあゆみ等）</p> <p>2. 北九州市「生活科・総合的な学習の時間」教育研究論文（共著） 浦田一幸 他（2017年1月） 共著者：北九州市立松ヶ江北小学校教員 8 名</p>



(概要)

研究主題「児童の『やる気・本気・根気』を引き出すことを重視しながら学力の向上を目指す生活科及び総合的な学習の時間の学習指導の在り方」を企画し、3年間の実践研究の成果等をまとめた。

具体的には、

- ・ 教師の適切な「動機付け」が、児童の「やる気」を引き出す。
- ・ 教師の適切な「意義付け」が、児童の「本気」を引き出す。
- ・ 教師の適切な「価値付け」が、児童の「根気」を引き出す。

という3点に着目した様々な実践を積み重ねた。

具体的には、生活科では、

2年「もっと なかよし 松北まちたんけん」

総合的な学習の時間では、

3年「世界の国とこんには」

4年「松北エコクッキング大作戦」

5年「松北の宝『猿喰新田』PR大作戦」

6年「日赤豊寿園『ここにこ交流』プロジェクト」

などの実践について、その成果や課題についての考察を加えながら、これからの授業づくりについての方向性を探った。

3. 中学校区4校合同職員研修会資料

「コミュニケーション4タイプで考える教職員、児童・生徒」(単著)

浦田一幸 (2018年8月)

(概要)

教育活動等における教職員相互及び児童・生徒とのコミュニケーションの重要性について、小中合同の職員研修会を企画した。

具体的には、4校の教職員約40名を対象に、チェックリストへの回答や演習等を通して、教職員組織としての学校力やチームワーク力の向上、より豊かな児童・生徒への理解力を養うプログラムについて考察した。

4. 家庭教育学級人権教育講演会資料「LGBT人権啓発講演ライブ」(単著)

浦田一幸 (2019年9月)

(概要)

ご自身もそうでありLGBTに関する啓発・講演活動等が続けておられる、地域在住の“ROSE”氏こと宮崎猛志氏を招聘し、人権教育講演会を企画した。

LGBTを切り口の一つとしながら、教育の根幹をなす「人権」・「生き方」・「人と人とのつながり」などに焦点を当て、教育思想についても幅広く考察を試みた。保護者、教員だけでなく地域住民にも参加を呼びかけ、地域を挙げての人権意識の高揚に加えて地域における生涯学習の意義等についても論じた。

5. 第6学年道徳「様々な性別LGBT」後の特別授業資料「ROSEさんとの出会い」(単著)

浦田一幸 (2019年11月)

(概要)

保護者、教職員、地域住民を対象とした前出の人権教育講演会の成果等を踏まえ、教育とは何かを考察した。

具体的には、6年生の児童を対象とした道徳科授業を企画する中で、学校と家庭との連携、児童がもつ人権意識を素材として、教職員の豊かな教育観を涵養する手法、開かれた教育課程などについて考察した。

6. 小倉南区小学校教頭会研修会資料「保護者対応についての課題」(単著)

浦田一幸 (2020年11月)

(概要)

教頭会の実践等を踏まえて保護者対応についての課題をまとめるとともに、「メラビアンの法則」等を紹介しながら、人とのコミュニケーションにおけるよりよい在り方等についても考察した。



7. 北九州市小学校特別活動研究会冬季実践講座指導助言資料集「学級びらき」(単著)

浦田一幸 (2021年2月)

(概要)

約 50 名の北九州市内若年教職員に対して、学級担任としての、4 月の始業式の日における児童との出会いのつくり方「学級びらき」の在り方について、実践発表等を踏まえながら、そのポイントや留意点などについて指導した。

さらに、「メラビアンの法則」等を紹介しながら、人と人とのコミュニケーションの在り方や留意点についても考察した。

8. 「『遊び保育論』を読み解く」(単著) (東筑紫短期大学研究紀要第 53 号)

浦田一幸 (2022年12月)

(概要)

小川博久著『遊び保育論』を読み解き、「保育者が幼児にとってのモデル、憧れとなる」という一主張を本学保育学科 1 年生のクラス担任の役割を考える際の一つの指針とした。そして、将来保育者となることを目指す学生のモデルとしての姿を示しつつ、学生一人一人に「安心感」を与える大学教員の在り方を追究した。

9. 「『遊び保育論』を読み解く II」(単著) (東筑紫短期大学研究紀要第 54 号)

浦田一幸 (2022年12月)

(概要)

小川博久著『遊び保育論』を読み解き、「保育者が幼児にとってのモデル、憧れとなる」という一主張を本学保育学科 1 年生のクラス担任の役割を考える際の一つの指針とした。そして、将来保育者となることを目指す学生のモデルとしての姿を示しつつ、学生一人一人に「安心感」を与える大学教員の在り方を追究し、学生の反応から検証した。

主な社会活動

北九州市立教育センター主催「初任者研修」等担当指導主事 (平成 20(2008)年度)

(概要)

市内小・中・特別支援学校新規採用教諭の初任者研修指導に当たった。編集担当者として、北九州市立教育委員会編『平成 20 年度初任者研修資料』(平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月)の全面執筆・とりまとめを行った。

北九州市立教育センター主催「初任者研修」・「総合的な学習の時間研修」指導講師

北九州市立教育センター「総合的な学習の時間・特別活動委嘱研究員」指導校長

(平成 22(2010)年度～平成 27(2015)年度)

(概要)

上記の期間、指導講師及び指導校長として市内教職員の指導に当たった。

北九州市小学校生活科・総合的な学習の時間教育研究会会長

(平成 24(2012)年度～平成 28(2016)年度)

福岡県小学校生活科・総合的な学習教育研究会協議会会長

(平成 28(2016)年度)

(概要)

平成 11(1999)年度に北九州市における初代の総合的な学習の時間担当指導主事を務めて以来、20 年以上にわたり、市内及び県内における総合的な学習の時間(及び生活科)の充実・発展に努めてきた。

東筑紫学園のキャンパスで学ぶ北九州市立年長者研修大学校「周望学舎」シニアカレッジ

「元気にシニアライフを愉しもう 2023」(全 14 講座)

「人それぞれの人との接し方 ～自分を知り、人を知る～

… コミュニケーション等に関する 4 タイプから …」講師

(令和 5(2023)年度)

(概要)

受講された年長者 20 名の方々に、コミュニケーションの在り方に関するご自身の 4 タイプ別診断の一部等を体験していただき、ご自身及びご家族の特徴を見つめ直していただいたり人と人とのコミュニケーションの在り方について考えていただいたりした。

所属	東筑紫短期大学 保育学科		
担当科目	〔保育学科〕		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ健康科学Ⅰ ・スポーツ健康科学Ⅱ ・キャリア教育演習Ⅱ 		
	〔食物栄養学科〕		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ健康科学Ⅰ 		
専門分野	■体育学		
最終学歴	日本体育大学	体育学部体育学科	卒業
学位	学士 (体育学)		
職歴	学校法人 直方学園高等学校 教諭		(1992年4月～1997年3月)
	校名変更 直方東高等学校 教諭		(1997年4月～1998年3月)
	学校法人 戸早学園 北九州保育福祉専門学校 幼児教育科 非常勤講師		(1998年4月～1999年3月)
	学校法人 戸早学園 北九州保育福祉専門学校 幼児教育科 専任教員		(1999年4月～2022年3月)
	国立大学法人 福岡教育大学 教育学部 非常勤講師		(2017年11月～現在に至る)
	学校法人 戸早学園 北九州保育福祉専門学校 幼児教育科 非常勤講師		(2022年4月～2024年3月)
	学校法人 別府大学 別府大学短期大学 初等教育科 准教授		(2022年4月～2024年3月)
	学校法人 別府大学 別府大学短期大学 初等教育科 非常勤講師		(2024年4月～現在に至る)
	学校法人 東筑紫学園 東筑紫短期大学 保育学科 准教授		(2024年4月～現在に至る)
教育上の業績	1998年より2022年3月まで北九州保育福祉専門学校(幼児教育科)の教員として22年間勤務し在籍中は学生課長・学科長を務めた。授業において学生が、予習・復習が出来るように資料及び授業実践のDVDを作成し授業を実施している。2017年11月より現在まで、福岡教育大学、教育学部、非常勤講師(担当科目:健康の指導法)、2024年より別府大学短期大学部、初等教育科、非常勤講師(担当科目:フィットネス、体育科指導法)を担当しており他大学の教壇にも立ち、幼児教育の向上を図るとともに地域との連携活動や、学生指導をおこなってきた。		
主な研究活動	【学術論文】		
	1. 体育授業における指導実践記録「明確な視点の必要性」		
	(概要) 学生指導の観点から「明確な視点の必要性」について述べた。授業の現状から目標を達成するためには物事をどのように捉えるかの視点が重要である。メンタルの視点やアライメント(技術的な視点)の視点などの重要性から、日常の学生生活においても視点は共通として重要である。学生指導では視野を広げることそして最後に学生、自分自身が決断することが重要であることを論じた。		
	2 遊びの指導における技の習得について実践記録「けん玉」		
	(概要) 授業実践遊びの指導法から授業教材である「けん玉」を取り上げ遊びの習熟、遊びの指導における技の習得についてまとめた。具体的指導法、教材の特性、失敗とその問題点の解決について授業実践記録として執筆した。		



3. 遊びの指導について授業実践「短縄跳び」

(概要) 授業実践遊びの指導法から授業教材である「短縄跳び」を取り上げ遊びの指導の指導についてまとめた。具体的指導法、教材の特性、失敗とその問題点の解決について授業実践記録として執筆した。

【学会発表】

1. なし

〈主催〉

〈開催場所〉

〈開催年月日〉 ○○○○年○月○日

主な社会活動

- ・行橋市社会福祉協議会「子育てボランティア養成講座」講師 (2016年3月)
- ・築城町立椎田中学校「子どもに関わる職業について」講師 (2016年10月)
- ・福岡県私立 慶成高等学校「進路ガイダンス:幼児教育・保育」講師 (2016年10月)
- ・行橋市市民大学講座「男の美学・女の美学講座」講師 (2016年11月)
- ・学校法人 豊国学園 豊国学園高等学校「進路ガイダンス:幼児教育・保育」講師 (2016年11月)
- ・行橋市社会福祉協議会「子育てボランティア養成講座」講師 (2017年2月)
- ・豊前市千束中学校「保育体験事前学習講演会」講師 (2017年6月)
- ・福岡県立東鷹高等学校 社会人特別講師招聘事業「子どもの発達と保育」特別講師 (2017年6月)
- ・行橋市市民大学講座「男の美学・女の美学講座」講師 (2017年11月)
- ・福岡県立東鷹高等学校「1DAY CAMPUS:保育分野」特別講師 (2017年11月)
- ・学校法人 九州電気工業学園 希望ヶ丘高等学校「保育・福祉に関わる仕事」講師 (2018年11月)
- ・福岡県立 築城西高等学校「進路ガイダンス:幼児教育・保育」講師 (2019年12月)
- ・福岡県立 行橋高等学校「体験学習 保育・幼児教育」講師 (2020年2月)
- ・福岡県立 東鷹高等学校「キャリアプランセミナー:保育分野」特別講師 (2020年2月)
- ・築城町立 椎田中学校「子どもに関わる職業について」講師 (2020年2月)
- ・福岡県立 築城西高等学校「進路ガイダンス:幼児教育・保育」講師 (2020年3月)
- ・福岡県私立 慶成高等学校「進路ガイダンス:幼児教育・保育」講師 (2020年5月)
- ・福岡県立 東鷹高等学校「進路ガイダンス:保育分野」特別講師 (2020年9月)
- ・築城町立 椎田中学校「子どもに関わる職業について」講師 (2021年3月)
- ・「お仕事フェスタinなかつ」保育:kamiで遊ぼう 講師 (2021年4月)
- ・大分県立 玖珠美山高校高等学校「進路ガイダンス:保育分野」特別講師 (2021年7月)
- ・福岡県立 東鷹高等学校「進路ガイダンス:保育分野」特別講師 (2021年7月)
- ・福岡県立 東鷹高等学校「進路ガイダンス:保育分野」特別講師 (2021年9月)



	別講師 ・福岡県立 門司大翔館高等学校「進路ガイダンス：保育分野」特別講師 (2022年3月) ・福岡県立 行橋高等学校 「進路ガイダンス：保育分野」講師 (2022年3月) ・大分市 保育所等職員研修「身体を使った遊び(3. 4. 5歳対象)」講師 (2022年12月) ・大分市 保育所等職員研修「身体を使った遊び(3. 4. 5歳対象)」講師 (2023年11月)
所属学会	日本保育学会 (2016年5月～現在に至る)
受賞歴	一般社団法人 福岡県専修学校各種学校協会 会長 永年勤続表彰 (2020年6月)

イダ トモミ
井田 智美

IDA Tomomi

講師

所 属	東筑紫短期大学 保育学科
担 当 科 目	<p>〔保育学科〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭福祉 ・子ども家庭福祉演習Ⅰ、子ども家庭福祉演習Ⅱ ・保育実習指導Ⅰ、保育実習指導Ⅲ ・保育実習Ⅰ、保育実習Ⅲ（施設） ・キャリア教育演習
専 門 分 野	<ul style="list-style-type: none"> ■臨床教育学 ■子ども家庭福祉
最 終 学 歴	北九州市立大学 社会システム研究科 地域コミュニティ専攻 修士課程修了
学 位	修士（人間関係学）
職 歴	<p>社会保険（現・一般財団法人 平成紫川会）小倉記念病院 保育士 （平成 4(1992)年 4 月～平成 15(2003)年 12 月）</p> <p>社会福祉法人鳳雲会 北九州乳児院 保育士 （平成 16(2004)年 4 月～令和 5(2023)年 3 月）</p> <p>学校法人東筑紫学園 東筑紫短期大学 保育学科 講師 （令和 5(2023)年 4 月～現在に至る）</p>
教育上の業績	<p>○九州乳児院協議会研修会（大分県 別府湾ロイヤルホテル） 研究発表「より良い発達のために～支援からの学び～」 乳児院で多くみられる運動面や情緒面等で気になる子どもへの発達支援の実践報告。 関係諸機関との連携について、また専門家による助言を日々の養育の中で、どう活かしていくべきか、 何が課題であるのかを考察した。 （平成 27(2015)年 2 月）</p> <p>○福岡県乳児院協議会企画研究委員会 企画研究委員長 （平成 27(2015)年 4 月～平成 29(2017)年 3 月） 福岡県、他九州地区乳児院職員に向けた研修会を企画、実施。</p> <p>平成 27(2015)年 7 月 30 日 春日市クローバープラザ 平成 27(2015)年 11 月 12 日・13 日 福岡市 福岡ガーデンパレス 平成 28(2016)年 7 月 5 日 春日市クローバープラザ 平成 28(2016)年 11 月 7 日・8 日 宗像市 玄海ロイヤルホテル</p> <p>定期的に委員会を開催し、各施設代表者による様々な意見、情報交換を行った。 また複数の施設の見学機会を設けた。</p>



	<p>○保育士養成校の学生に向けた特別講義 「乳児院の現状と保育士の役割」 対面及びリモートにて、乳児院の現状と保育士の役割について講義を行った。 入所理由や在所児の様子、退所後についての詳細に加え、アタッチメント形成や繋ぎの問題、親子関係再構築等にも触れる内容とした。また、事例検討もを行い、乳児院の実際の事例を参考にした架空事例も取り扱った。</p> <p>九州女子短期大学（平成 31(2019)年 2 月） 西南女学院大学（令和 3(2021)年 2 月・6 月） 東筑紫短期大学（令和 3(2021)年 6 月）</p>
主な研究活動	<p>【論文（研究紀要）】</p> <p>1. 施設実習における学生の「不安」への寄り添いが学びに与える影響 ーアタッチメント理論から探るアプローチ 東筑紫短期大学研究紀要第 54 号 pp.143-160 単著（令和 5(2023)年 12 月）</p> <p>(概要) 保育学生の多くは、保育所以外の児童福祉施設が身近でなく、十分にイメージできないため、実習中にも不安を抱く場面があるが、現場の実習担当者によって適切な応答がなされたことにより、安心感を得ることができ、その後の実習成果へと結びついていることが、アンケート結果、実習記録等からうかがえる。「アタッチメント」の視点から「不安」へ寄り添うことの意義を考察した。</p>
主な社会活動	<p>○ムーブフェスタ 2021 市民企画事業（北九州市立男女共同参画センター・ムーブ） 北九州子育て支援と子ども文化ネットワーク 「アタッチメント[愛着]形成と子育て支援ー虐待の世代間伝達を乗り越えるー」 ・シンポジスト 報告：何らかの事情で乳児院に措置された子どもと家族の再統合の可能性と支援の課題 (令和 3(2021)年 7 月)</p> <p>○北九州市一日里親の会 会員（令和元(2019)年 6 月～現在に至る） 家庭生活体験事業等への取り組み</p>
所属学会	<p>日本子ども虐待防止学会（2023 年～現在に至る） 日本赤ちゃん学会（2023 年～現在に至る）</p>
受賞歴	<p>九州乳児福祉協議会 永年勤続表彰（平成 30(2018)年 2 月） 全国乳児福祉協議会 永年勤続表彰（15 年）（令和元(2019)年 10 月）</p>



所 属	東筑紫短期大学	保育学科
担 当 科 目	〔保育学科〕 ・教育実習事前・事後 ・教育実習 ・言葉 ・保育内容総論演習 ・教職実践演習（幼稚園）	
専 門 分 野	■ 保育内容 ■ 教育実習指導・言葉・わらべうた	
最 終 学 歴	東筑紫短期大学大学	保育学科 卒業
学 位	準学士	
職 歴	きらきら星幼稚園 教諭 北九州保育福祉専門学校幼児教育科 専任教員 東筑紫短期大学保育学科 非常勤講師 ○「音楽演習（わらべうた）」担当 東筑紫短期大学保育学科 講師	1999年4月～2015年3月 2016年1月～2023年3月 2017年4月～2023年3月 2023年4月～現在に至る
教育上の業績	○教員免許状更新講習（選択領域）言葉指導法（2020年3月） ○教員免許状更新講習（選択領域）言葉指導法（2020年8月） ○教員免許状更新講習（選択領域）言葉指導法（2021年9月）	
主な研究活動	【教育実践記録等】 教育実習における実習生指導のあり方の一考（単著） 1. 北九州保育福祉専門学校研究紀要10号（2017年3月） （概要） 幼稚園（保育現場）において、設定保育のあり方や子ども観察や記録のとり方は子どもの成長を促すためには欠かせないものである。しかし、実習生はそのことよりも自分の考えた活動の流れを重視するあまりに子どもを軽視しがちである。そこで、設定保育や記録はなぜ必要なのか、何を何のために行うのかなどを考えさせることを通して、子どもの発達を大切に活動や援助のあり方を考えさせる効果的な実習指導の取り組みについて考察した。	
	子どもの発達を捉える指導案指導の一考察～教育実習Ⅰを通して実習指導Ⅰを考える～（単著） 2. 北九州保育福祉専門学校研究紀要第11号（2017年12月） （概要） 教育実習指導では、実習に臨むにあたっての事前準備、巡回指導、事後指導が柱となる。その中でも設定保育の指導案指導は、子どもの発達に対する認識の弱さに課題がある。そこで、実際の実習事例を検討し、実習前の指導、実習中の巡回指導、実習後の振り返りに関して、多くの学生に子どもの発達という観点が抜け落ちていることを明らかにし、実習方法や指導の改善について考察した。	
	3. 幼児期の効果的な言葉の獲得とコミュニケーション力を育むための一考察 —「わらべうた」の指導を通して—（単著） 北九州保育福祉専門学校研究紀要第11号（2017年12月） （概要） 近年「わらべうた」は、その効果が再評価され、様々な保育・教育場面で活用されるようになってきている。本稿では、保育現場での事例から「わらべうた」が「乳幼児期の効果的な言葉の獲得」と「コミュニケーション力を育む」上での効果的な手法であることを明らかにし、わらべ歌がもつ効力を再確認した。その成果を基に「わらべうた」の教育指導上乳幼児を取り巻く大人のコミュニケーション力の低下や「遊び」の体験不足が課題となっていることを明らかにした。	
	4. 学生アンケートからみるわらべうた指導の一考察～ことば指導法の授業アンケート結果から～ （単著） 北九州保育福祉専門学校研究紀要第11号（2017年12月） （概要）	



「言葉（指導法）」の指導方法について考察したもの。具体的には担当する授業の受講生に「わらべ歌」活用に関するアンケートを行い、領域「言葉」と「わらべうた」のつながりを検討。領域言葉の指導において乳幼児の発達の認識と発達過程に即したわらべうたの効果的な活用促進が課題であることが明らかになった。

- 5. 保育者養成における年長児の言葉指導の一考察**
～附属幼稚園との交流授業「おはなし会」を通して～（単著）
北九州保育福祉専門学校研究紀要 15 号（2020 年 10 月）

（概要）

勤務校の授業「言葉（指導法）」で実施した交流会を題材に領域言葉のねらいについて考察。受講生に「5 歳児の発達に適した絵本や物語の題材選び」や絵本の読み聞かせ、詩の語り等の体験を通して「園児のイメージや言葉を豊かに育むプログラム」を作成させ、本領域のねらいがどの程度実践できているかを検討、併せて効果的な指導法についても考察した。

- 6. 教育職の研究（その 1）教育実習の取り組み—学生の授業効果を高めるための一考察—**（単著）
北九州保育福祉専門学校研究紀要 16 号（2021 年 10 月）

（概要）

教育実習における課題について考察したもの。実習生に対する教育実習事前・事後アンケートから実習に対する不安や受け身な姿勢が教育実習実施の課題であることが明らかとなった。これを受け、事前指導として学生が実習や自分の課題に対して向き合い、自ら改善していく姿勢を育むためのアクティブラーニングを試みた。実習後のアンケート結果を分析したところ、主体的で、実践形式に近いアクティブラーニングが教育効果を高めるものであることが明らかになった。

- 7. 教育職の研究（その 2）教育実習指導の取り組み—絵本の読み聞かせ指導の一考察—**（単著）
東筑紫短期大学研究紀要第 54 号（2023 年 12 月）

（概要）

教育実習における「絵本の読み聞かせ」指導の取り組みについて考察したもの。実習生にとって絵本の読み聞かせは、初めて子どもたちの前で実践していく保育内容であり、実際に子ども達へ実践し、反省や改善をすることは保育を再構成していく力を培うことにつながると考えた。そこで実践した授業内容と学生授業記録を基に取り組みを検討したところ、「実習」に対する見通しを持つことが実習への期待を高める効果となったことが明らかになった。

- 8. 領域「言葉」の理解と児童文化財における一考察**（共著）
東筑紫短期大学研究紀要第 54 号（2023 年 12 月）

（概要）

領域「言葉」の授業内容と方法について考察したもの。「紙芝居」の特徴と実践における内容と留意点をまとめ、演習した授業の学生授業記録から本領域のねらいがどの程度実践できているかを検討した。そこから、児童文化財を扱う保育者の「言葉」の在り方も留意していく必要があることが明らかとなった。（上森哲生・丸田敦子）

主な社会活動

- 子育て支援（熊本県菊陽町総合交流ターミナル「さんふれあ」）（2016 年 7 月）
熊本地震の被災地の子どもたちへ情緒の安定と製作を通じての心の活性化をねらいとして、勤務校の教職員と「手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせ、モールアート」を実施。
○令和 5 年度北九州市と連携事業北九州市立年長者研修大学校周望学舎シニアカレッジ
「言語コミュニケーション～伝える力を磨こう！～」（2023 年 10 月）

所属学会

- 日本保育学会（2017 年 1 月～現在に至る）
保育教諭養成課程研究会（2024 年 4 月～現在に至る）

所属	東筑紫短期大学 保育学科
担当科目	〔保育学科〕 ・幼児体育 ・レクリエーション概論 ・レクリエーション実技 ・保育教職実践演習 ・キャリア教育演習 I
専門分野	■ スポーツ社会学、教育学 ■ 子ども学、保育学、幼児体育
最終学歴	立命館大学院修士課程 社会学研究科 応用社会学専攻 スポーツ社会学専攻 修了
学位	修士 (社会学) / 学士 (教育学)
職歴	株式会社 力健 幼児体育指導 臨時指導員 (令和 3(2021)年 4 月～令和 6(2024)年 3 月) 京都市障害者スポーツセンター 臨時指導員 (令和 4(2022)年 4 月～令和 6(2024)年 3 月) 放課後等デイサービス ぱらすぼ 臨時指導員 (令和 4(2022)年 6 月～令和 6(2024)年 3 月) 立命館大学産業社会学部科目 (令和 4(2022)年 9 月～令和 5(2023)年 1 月) 「子どもとスポーツ」ティーチングアシスタント 東筑紫短期大学 保育学科 助教 (令和 6(2024)年 4 月～現在に至る) ○「幼児体育」「レクリエーション概論」「レクリエーション実技」「保育教職実践演習」 「キャリア教育演習 I」担当 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学生部学生指導課 指導主事 (令和 6(2024)年 4 月～現在に至る)
主な研究活動	【学術論文等】 1. 幼児期における投動作の能力向上に関する研究 副題：保育者が実践できる運動プログラムの開発 (共著) (研究ノート) (概要) 大橋祐介, 金子勝司, 佐近慎平, 中曾根裕, 橋浦孝明 総合人間科学研究学会総合人間科学第 8 号 (令和 4 (2022) 年 3 月) 共同研究のため担当部分抽出不可能 【学会発表】 1. 幼稚園・認定こども園で展開されるインクルーシブな幼児体育指導の現状と課題 副題：専門指導者の意識とスキルに着目して (共同発表) 〈主催〉日本体育・スポーツ・健康学会 〈開催場所〉同志社大学 〈開催年月日〉令和 5 (2023) 年 8 月 30 日～9 月 1 日 (概要) 大橋祐介, 金子勝司, 松島剛史, 萩原大河, 金山千広 2. 幼稚園・認定子ども園における幼児体育指導者の実態 副題：インクルーシブ体育の観点から (共同発表) 〈主催〉京都滋賀体育学会 〈開催場所〉立命館大学 〈開催年月日〉令和 6 (2024) 年 3 月 9 日 (概要) 大橋祐介, 金子勝司, 金山千広
主な社会活動	・大阪体育大学 子ども運動教室 幼児体育指導 (平成 30(2018)年 7 月～令和 4(2022)年 3 月) ・和歌山県大河保育所 幼児体育指導 (令和 3(2021)年 7 月～令和 3(2021)年 9 月) ・イオン神戸南 キッズチャレンジ 運動指導 (令和 4(2022)年 8 月) ・第一回京都府立特別支援学校スポーツ交流会 運動指導 (令和 4(2022)年 10 月) ・第二回京都府立特別支援学校スポーツ交流会 運動指導 (令和 5(2023)年 9 月) ・東筑紫短期大学附属幼稚園 幼児体育講師 (令和 6(2024)年 5 月～現在に至る)



学校法人 東筑紫学園

東筑紫短期大学

HIGASHI CHIKUSHI JUNIOR COLLEGE

所属学会

日本体育・スポーツ・健康学会
兵庫体育・スポーツ科学学会
九州体育・スポーツ学会
日本保育学会

(令和5(2023)年5月～現在に至る)
(令和5(2023)年5月～現在に至る)
(令和6(2024)年4月～現在に至る)
(令和6(2024)年4月～現在に至る)

イケハタ マサコ
池畑 雅子

IKEHATA Masako

特任助手

所 属	東筑紫短期大学 保育学科
担 当 科 目 〔講義補助〕	〔保育学科〕 ・情報処理学 ・教育実習（幼稚園）
専 門 分 野	■ 情報学
最 終 学 歴	東筑紫短期大学 食物栄養学科 卒業
学 位	短期大学士（食物栄養学）
職 歴	東筑紫短期大学 副手 (昭和 57(1982)年 5 月 1 日～昭和 63(1988)年 3 月 31 日) 東筑紫短期大学 助手 (昭和 63(1988)年 4 月 1 日～令和 4 年(2022)年 3 月) 東筑紫短期大学 特任助手 (令和 4(2022)年 4 月 1 日～現在に至る)